KENWOOD

ライフスタイルハイファイコンポーネントシステム

LCA-5MD
LCA-7MD

取扱説明書

お買い上げいただきましして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。
使用者の安全のため、必ず『安全上のご注意』をお読みのうえご使用ください。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

この取扱説明書は2機種を共用しておりますので、一部フィーチャー（機能）の異なるものがあります。

MDLP

B60-5354-00 01 MA (J) CR 0305

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

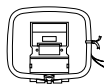
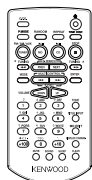
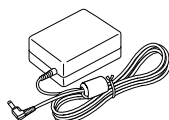
ドルビーラボラトリーズの米国および海外特許に基づく許諾製品

あなたが録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

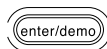
付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

AM ループアンテナ（1 個）

FM 室内アンテナ（1 本）

カード型リモコン（1 個・ボタン電池内蔵）

お使いになる前に
カード型リモコンの電池シートを矢印の方向に引き抜いてください。

AC アダプター（1 個）

電源コード（1 本）

デモンストレーションについて

本機には、デモンストレーション機能（表示のみ）があります。各動作を示す表示部などが順に変化していきますが、音は変化しません。解除するときは、次の方法を行なってください。

"DEMO OFF"（デモンストレーション解除）：
デモンストレーション中に本体の **enter/demo** キーを押す

"DEMO ON"（デモンストレーション実行）：
電源がオンの時に **enter/demo** キーを押す（2秒以上）

- 電源がオン状態のとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、自動的にデモンストレーションがオンになります。

目次

⚠ このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

安全編

準備編

基本編

応用編

知識編

本機の特長

CD-R／CD-RW 再生対応

音楽CDの再生はもちろん、CD-R(Compact Disc Recordable)(追記型)、CD-RW(Compact Disc Rewritable)(書き換え型）に録音された曲の再生ができます。
ファイナライズされたディスクのみ再生可能です。ただし、ディスクによっては再生できない場合があります。

MD ロングプレイモード対応

ATRAC 3（MDLP）による長時間録音、再生機能（LP2、LP4）を搭載。標準の2倍(約160分*）または4倍（約320分*）のデジタル長時間録音、再生ができます。(* 80分ディスクを使用した場合）

CD → MD High Speed ダビング対応　（4倍速）

CDからMDへカンタン、4倍速でダビングできる便利な機能です。(全曲、1曲、プログラム録音）

グループ機能

多数の曲を何曲かずつのグループに分けて管理できる便利なMDグループ機能を搭載しています。

便利な録音あれこれ

目的別に使える、多彩な録音機能です。

- **ワンタッチ録音：**
  キーを押すだけで、CD 1枚または1曲をカンタンに録音できます。
- **プログラム録音：**
  好きな曲を好きな曲順で録音できます。

便利なタイマー機能

- **ウィークリータイマー再生、ウィークリータイマー録音機能：**
  タイマー再生、AIタイマー再生とタイマー録音を2系統（**PROG. 1**, **PROG. 2**）設定ができます。(AIタイマーは、タイマー再生開始後、設定したレベルまで徐々に音量が上がります。)
- **おやすみタイマー機能：**
  設定時間になると自動的にパワーがオフになります。就寝時など音楽を聴きながら、おやすみになりたいときに便利です。

安全上のご注意

⚠ この頁は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります）

警告

ACアダプターは交流100ボルトの電圧で使用する

この機器のACアダプターは、交流100ボルト専用です。
指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

船舶などの直流(DC)電源には接続しない

火災の原因となります。

通風孔をふさがない

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しない。
- 風通しの悪い狭い所で使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

布や布団などでおおったりつつんだりしない

ACアダプターは、風通しの悪いところで使用すると内部に熱がこもり、火災の原因となります。

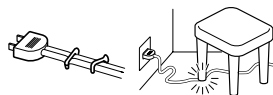
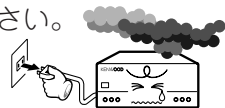
風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。
火災・感電の原因となります。

水をかけたりぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定したりしない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。
コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら(芯線の露出、断線など)販売店または当社サービス窓口に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がしたりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

警告

電源プラグを定期的に清掃する

電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

きれいにしましょう

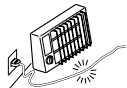
機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かない

水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。
火災・感電の原因となります。

機器の上にろうそくやランプなど火のついた物を置かない

本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

落としたらACアダプターを抜く

ACアダプターや機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

ACアダプターや機器のケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

指定のACアダプターを使う

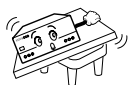
指定以外のACアダプターを使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

電源コード､ACアダプターを熱器具に近づけない

電源コード､ACアダプターを熱器具(ストーブ､アイロンなど)に近づけない。
コードの被覆が溶けて､火災･感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など､不安定な場所に置かない。
落ちたり､倒れたりしてけがの原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台や加湿器のそば､湿気やほこりの多い場所に置かない。
火災･感電の原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など､異常に温度が高くなる場所に放置しない。
本体や部品に悪い影響を与え､火災の原因となることがあります。

アンテナ工事は販売店に相談する

工事には､技術と経験が必要です。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合､感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して､火災の原因となることがあります。また､電源プラグの刃に触れると､感電の原因となることがあります。
電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には､販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

長期間使用しないときはACアダプターを抜く

旅行などで長期間使用しないときは､必ずACアダプターをコンセントから抜く。
火災の原因となることがあります。

移動させるときはACアダプターを抜く

移動させるときは､電源スイッチを切り､ACアダプターをコンセントから抜き､アンテナ線､接続コードを外す。
コードが傷つき､火災､感電の原因となることがあります。

お手入れの際はACアダプターを抜く

お手入れの際はACアダプターをコンセントから抜く。
感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき､火災･感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

⚠ 注意

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。
あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

カセットテープ、ディスク挿入口に手を入れない

手がはさまれて、けがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス"+"とマイナス"-"の向き)に注意し、表示どおりに入れる。
- 指定の電池を使用する。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない。

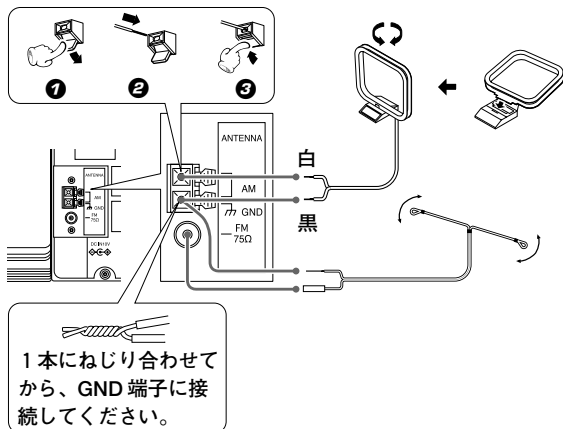
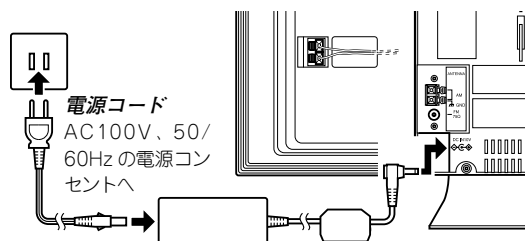
電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。

⚠ 定期的に内部の点検、清掃をする

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

接続のしかた

付属アンテナの接続

⚠ 接続上のご注意	接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。 接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

AM ループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

FM 室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ（市販）の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

❶ アンテナ端子に接続する。
❷ 受信状態のよい位置をさがす。
❸ 固定する。

AC アダプターの接続

この製品には、付属の AC アダプター「W09-1299」（JEITA 規格・極性統一形プラグ付き）をご使用ください。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、" 故障かな？と思ったら..." を参照してマイコンをリセットしてください。→86

⚠ ACアダプター使用上のご注意

ACアダプターを、布などでおおうことやまわりが囲まれた狭い場所に置かないでください。
風通しの悪い所で使用すると内部に熱がこもり、火災の原因となります。

- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。その場合は、本機をテレビやパソコンから少しはなして置いてください。
- 安定した場所に設置してください。

他の機器（市販品）との接続

⚠ 接続上のご注意

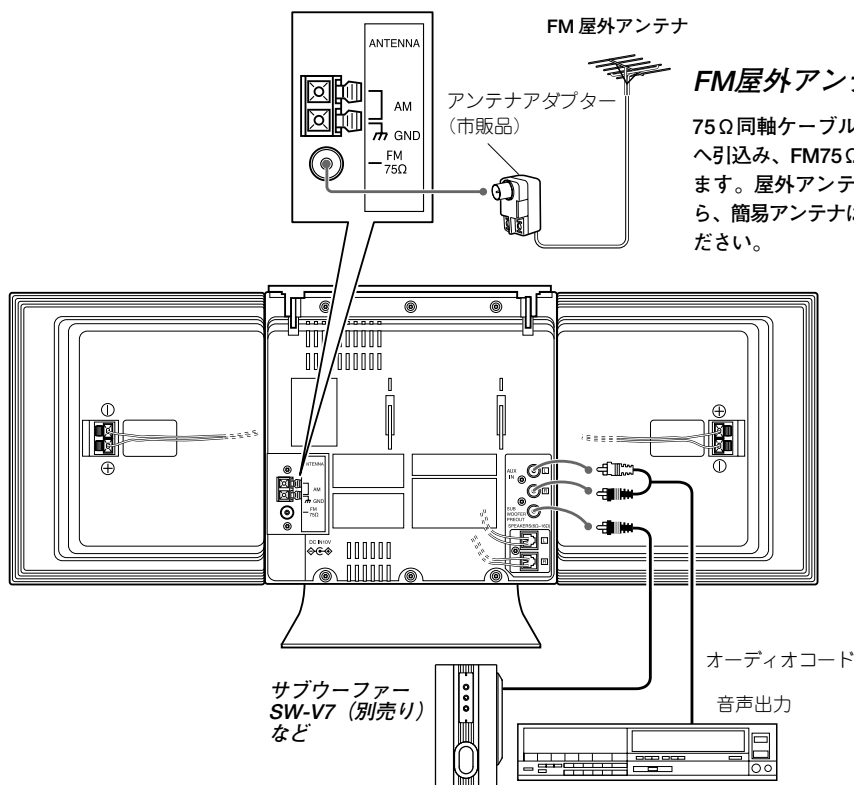
接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。
接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

⚠ 屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが、倒れた場合感電の原因になることがあります。

ANTENNA
AM
GND
FM 75Ω

FM 屋外アンテナ

アンテナアダプター（市販品）

FM屋外アンテナ

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

オーディオコード

音声出力

サブウーファー SW-V7（別売り）など

ビデオデッキまたは、RIAA イコライザーアンプ内蔵のレコードプレーヤー／P-110（別売）など

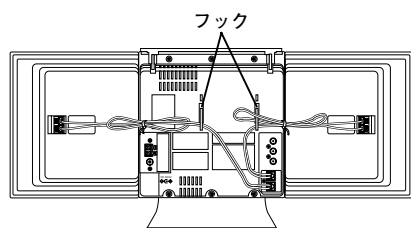
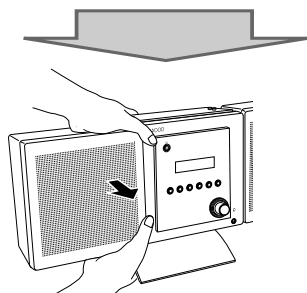
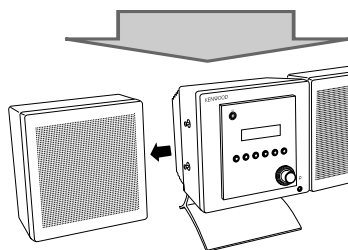
- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

スピーカーの取り外しと取り付け

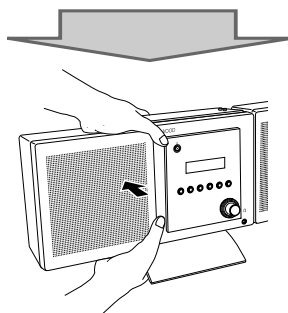
本体からスピーカーを外して、お好みの場所に設置することができます。
LCA-7MD のイラストで説明していますが、LCA-5MD のスピーカー取り付け、取り外しも同じ方法です。

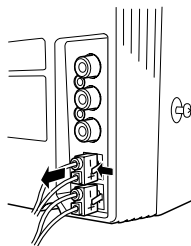
> スピーカーの取り外し、取り付け、スピーカーコードの取り替えをするときは、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。本体にディスクが入っているときは、ディスクを取り出しておいてください。
> スピーカーを片方のみ外した状態では不安定になり、振動、衝撃が加わると転倒する場合があります。取り外し、取り付けるときはご注意ください。

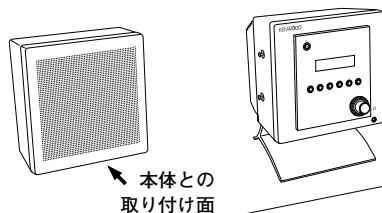
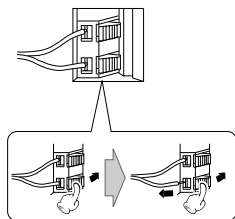
スピーカーの取り外し

フック

背面に束ねてあるスピーカーコードをフックから外します。

スピーカーを後ろから矢印の方向に押して出します。
スピーカーを落とさないようにご注意ください。

本体からスピーカーを取り外します。

スピーカーの取り付け

本体の凸部とスピーカーの凹部を合わせます。
左右のスピーカーとも下の凹部は後ろ側を使います。

スピーカーを前から矢印の方向に押して入れます。

取り外したスピーカーの設置について

本体との取り付け面を下にしてスピーカーを設置します。
本体との取り付け面にはすべり止めが付いています。

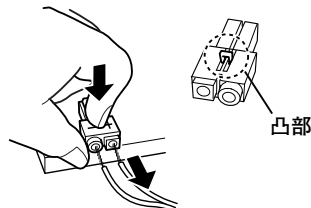
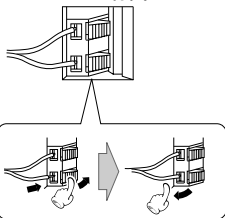
スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。その場合は、スピーカーをテレビやパソコンから少しはなして置いてください。

スピーカーコードの取り替え

本体からスピーカーを外してご使用になる場合、スピーカーコードが短いときなど市販のスピーカーコード〔AWG24 ～ 18（導体部の直径 0.511mm ～ 1.024mm）規格〕に取り替えることができます。
市販のスピーカーコードの両端は、あらかじめ約1cm 程度ビニール被覆を外し、導線がばらけないようによじっておいてください。

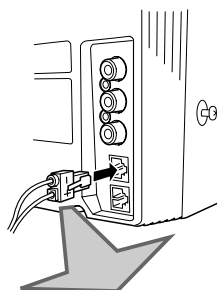
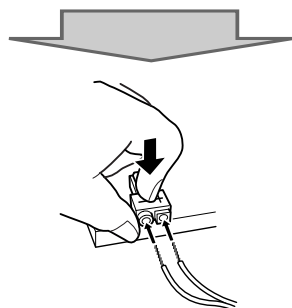
本体背面

矢印のレバー部を押しながら、スピーカーコネクタを抜きます。

スピーカー背面

レバーを押しながら、スピーカーコードを抜きます。

スピーカーコネクタの凸部を固い机などに押しつけながらスピーカーコードを抜きます。

スピーカーコネクタの凸部を固い机などに押しつけながら、用意した市販のスピーカーコードを入れます。

- 導線がばらけていると、コネクタからはみ出しショートする危険があります。十分によじってから導線をコネクタに入れてください。
- スピーカーコードを入れたあと、コネクタを持って軽くスピーカーコードを引いて抜けないことを確認してください。

本体背面

スピーカー背面

（レバーを押しながら、スピーカーコードの導線を端子に差し込みます）

スピーカーコネクタの"－"側コード ➡ スピーカーの黒い端子と接続

スピーカーコネクタ の"＋"側コード ➡ スピーカーの赤い端子と接続

本体背面にスピーカーコネクタを差し込み、スピーカー背面のスピーカー端子にスピーカーコードを接続します。

- スピーカーコネクタはカチッと音がするまで確実に本体のスピーカーコネクタ受部に入れます。

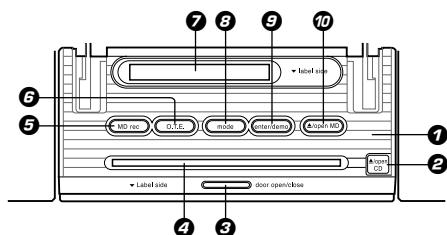
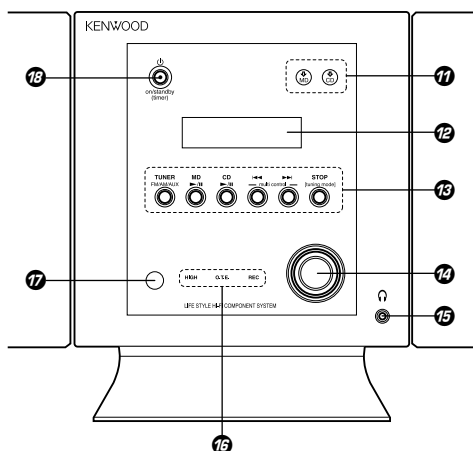
- スピーカーコードの＋と－は絶対にショートさせないでください。
- 極性（"＋"と"－"）を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。
- スピーカーコネクタ受部に金属などの異物を入れないようにしてください。

各部のなまえと働き

本体部

上面部

正面部

❶ **ドア** → 15

❷ **▲ /open CD 取り出しキー** → 23
CD を取り出すときに使います。

❸ **door open/close ドア開閉キー** → 15
ドアを開閉するときに使います。

❹ **CD 挿入口** → 22

❺ **MD rec キー** → 36
MD に録音するときに使います。

❻ **O.T.E. キー** → 46 → 48 → 50
CD をワンタッチで MD に録音するときに使います。

❼ **MD 挿入口** → 25

❽ **mode キー** → 15
設定モードに切り換えるときに使います。

❾ **enter/demo キー** → 2 → 15
設定モード操作などに使います。
デモンストレーションのオン／オフを切り換えるときに使います。

❿ **▲ /open MD 取り出しキー** → 26
MD を取り出すときに使います。

⓫ **CD、MD インジケーター** → 22 → 25
CD、MD が入っているときに点灯します。

⓬ **表示部** → 19

⓭ **基本操作キー**

TUNER FM/AM/AUX キー → 28 → 33
キーを押すたびに入力を FM 放送、AM 放送、AUX に切り換えます。

MD ►/II キー → 25
入力をMDレコーダーに切り換え、再生を開始します。
MD 再生中に押すと一時停止をします。
MD 録音中に押すと録音を一時停止します。

CD ►/II キー → 22
入力をCDプレーヤーに切り換え、再生を開始します。
CD 再生中に押すと一時停止をします。

I◄◄ multi control キー
►►I multi control キー
– CDやMDの曲の飛び越し → 23 → 26
– プリセット放送局を選ぶ → 28
– 設定モードの項目を選ぶ → 15

STOP/[tuning mode] キー
CD、MD のとき： → 23 → 26 → 36
ディスクの操作を停止するときに使います。
チューナーのとき： → 31
オート選局（ステレオ受信）とマニュアル選局（モノラル受信）の切り換えを行います。
スタンバイ状態のとき： → 76
表示部に時計を表示します。

⓮ **音量つまみ** → 20
右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。

ワンタッチオペレーション機能について

本機は便利なワンタッチオペレーション機能を備えています。
スタンバイ状態のとき、⓭ 内の TUNER FM/AM/AUX キー、MD ►/II キー、CD ►/II キーを押すと、電源がオンになります。ディスクが入っていれば再生します。

- TUNER FM/AM/AUX キーの場合、電源をオフにする前の入力で受信（再生）されます。

⑮ ヘッドホン端子 →21

ステレオミニプラグのヘッドホン（別売）を接続します。

⑯ 録音インジケーター →36 →45 →46

録音の設定や状態によって点灯します。

HIGH ：CD の録音スピードが 4 倍速に設定されていると点灯します。

O.T.E. ：CD のワンタッチ録音をすると点灯します。

REC ：録音中に点灯します。

⑰ リモコン受光部 →18

リモコンからの信号を受信します。

⑱ ⏻ キー →20

電源のオン／スタンバイを切り換えます。

on/standby (timer) インジケーター

電源がオンのときはオレンジ色で点灯します。

電源がスタンバイ状態になると次のように点灯します。

赤色　：通常のスタンバイ状態

緑色　：タイマースタンバイ状態

設定モードの基本操作

各種機能の設定や調整は、**mode**キーを使って操作します。

modeキーを押して設定モードにし、**⏮、⏭ multi control**キーで設定し、**enter/demo**キーを使って確定します。

- **mode**キーを押してから**⏮、⏭ multi control**キーを押すと以下のように表示が切り換わります。

  "REC MODE"
  "REC SPEED"
  "REC OPTIONS"
  " ケンメイ セッテイ "
  （入力がチューナーのときのみ）
  "AUX INPUT"
  （入力が外部入力のときのみ）
  "BALANCE"
  "A.P.S. SET"
  "DISPLAY SET"
  "TIME ADJUST"
  "TIMER SET"

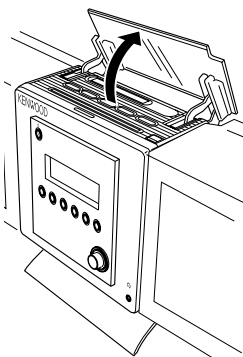
- 「>」側の設定が選ばれます。

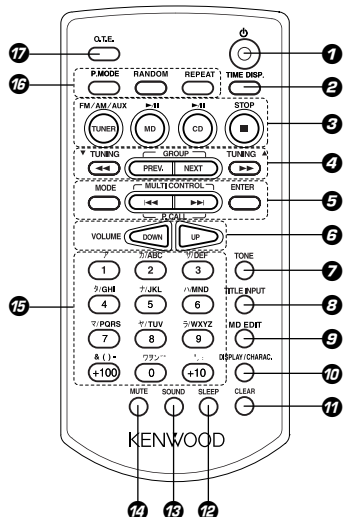
  例：「ON」を選んでいるとき

- 20 秒以上操作しないと設定モードは解除されます（TIME ADJUST、TIMER SET は除く）。

ドアの開閉について

本機上面のドアは、操作ボタンまで開くハーフオープン状態とMD挿入口まで開くフルオープン状態があります。

ドアが閉じているとき、door open/close キーを押すと、ハーフオープン状態になります。

ドアが閉じているとき、door open/close キーを約1秒以上押し続けると、フルオープン状態になります。
ハーフオープン状態のときに押し続けてもフルオープン状態になります。

ドアを閉じるときは、もう一度 door open/close キーを押します。
ドアの状態にかかわらず閉まります。

- 電源をオフにするとドアは自動で閉まります。
- ドアは無理に手で閉めないでください。

スタンバイ状態について

本機のスタンバイインジケーターが点灯中（赤色、緑色）は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

リモコンの使いかた

本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ働きをします。

お使いになる前に
カード型リモコンの電池シートを矢印の方向に引き抜いてください。

❶ ⏻ キー → 20
電源のオン／スタンバイを切り換えます。

❷ **TIME DISP. キー** → 24 → 27 → 59
CD や MD などの時間表示を切り換えるときに使います。

❸ **基本操作キー**
TUNER FM/AM/AUX キー → 28 → 33
MD ►/II キー → 25
CD ►/II キー → 22
STOP ■ キー → 23 → 26 → 31 → 36 → 76

❹ **TUNING ▼/◄◄ キー**
TUNING ▲/►► キー
チューナーのとき： → 31
放送局の選択に使います。
CD、MD のとき： → 23 → 26
早送り、早戻しに使います。
GROUP PREV. キー → 26 → 59
GROUP NEXT キー
MD のグループを選ぶときに使います。

❺ **MODE キー** → 17
設定モードに切り換えるときに使います。
MULTI CONTROL |◄◄ / P.CALL |◄◄ キー
MULTI CONTROL ►►| / P.CALL ►►| キー
– CDやMDの曲の飛び越し → 23 → 26
– プリセット放送局を選ぶ → 28
– 設定モードの項目を選ぶ → 17
– MDの編集項目を選ぶ → 52 → 62 → 71 → 72
ENTER キー → 17 → 52 → 62 → 71 → 72
設定モード操作や MD の編集処理の実行や、入力したタイトルの確定などに使います。

❻ **VOLUME UP キー** → 20
VOLUME DOWN キー
音量を調整するときに使います。

❼ **TONE キー** → 21
音質の調整に使います。

❽ **TITLE INPUT キー** → 71 → 72
MD にタイトル入力をするときに使います。

❾ **MD EDIT キー** → 52 → 62
MD を編集（曲の移動、消去、結合、分割）するとき、グループの作成などに使います。

❿ **DISPLAY/CHARAC. キー** → 24 → 27 → 31 → 36 → 73
タイトルや時計をディスプレイに表示させるとき､MD のタイトル入力で目的の文字グループを選ぶときなどに使います。

⓫ **CLEAR キー** → 32 → 40 → 73 → 74
プリセットした放送局を消去するときに使います。
CD または MD のプログラムした曲を取り消します。
MD のタイトル入力のとき、1 文字を削除します。

⓬ **SLEEP キー** → 77
おやすみタイマーを設定するときに使います。

⓭ **SOUND キー** → 21
EX.BASS を選ぶときに使います。

⓮ **MUTE キー** →21

一時的に音を消したいときに使います。

⓯ 文字／数字キー

CD または MD の曲を選ぶときや、TUNER のプリセット呼出しキーとして使います。 →23 →26 →28

MD のタイトル入力のとき、アルファベット、カタカナ、数字、記号の入力に使います。 →73

⓰ **P.MODE キー** →29 →39 →59

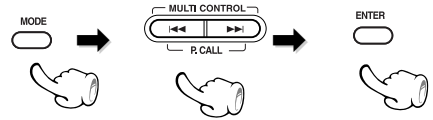
オートプリセットした放送局名を切り換えるときに使います。

プログラムモードやグループモードに切り換えるときに使います。

RANDOM キー →42 →60

曲順を順不同に再生します。

REPEAT キー →41 →60

繰り返し再生するときに使います。

⓱ **O.T.E. キー** →46 →48 →50

CD をワンタッチで MD に録音できます。

設定モードの基本操作

各種機能の設定や調整は**MODE**キーを使って操作します。

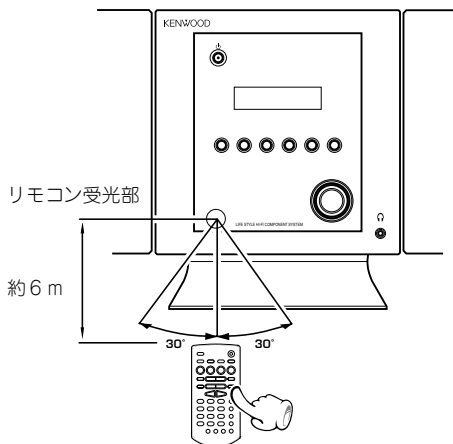
MODEキーを押して設定モードにし、⏮、⏭キーで設定し、**ENTER**キーを使って確定します。

- **MODE**キーを押してから⏮、⏭キーを押すと以下のように表示が切り換わります。
  - **"REC MODE"**
  - **"REC SPEED"**
  - **"REC OPTIONS"**
  - **"ケンメイ セッテイ"**
    （入力がチューナーのときのみ）
  - **"AUX INPUT"**
    （入力が外部入力のときのみ）
  - **"BALANCE"**
  - **"A.P.S. SET"**
  - **"DISPLAY SET"**
  - **"TIME ADJUST"**
  - **"TIMER SET"**
- 「>」側の設定が選ばれます。

例：「ON」を選んでいるとき

- 20 秒以上操作しないと設定モードは解除されます（TIME ADJUST、TIMER SET は除く）。

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの ⏻ キーを押すと、電源がオンになります。電源がオン になったら、操作したいキーを押します。

- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約１秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

操作範囲のめやす

KENWOOD

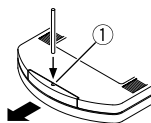
リモコン受光部

約６ｍ

30°　30°

リモコンボタン電池の交換

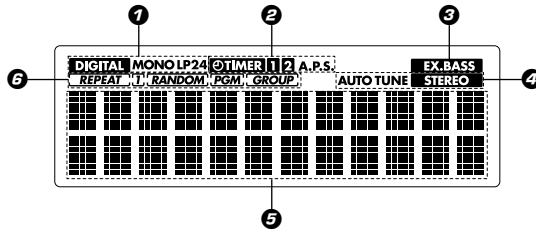
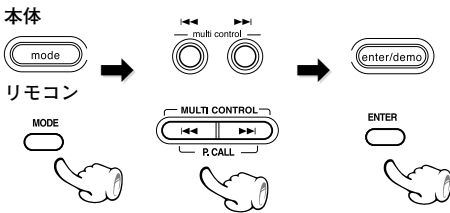
市販のボタン電池（CR2025）と交換します。

❶ ① の穴にピンのような細いものを差し込んで引き出す

❷ 新しいボタン電池と交換する

電池の極性に注意して入れます。

- 付属のボタン電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがありますのでご了承ください。
- 操作できる距離が短くなったら、新しいボタン電池と交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

表示部

本文中の表示は、概念を示すもので、実際の表示と異なる場合もあります。

❶ MD関連表示
❷ タイマー関連、A.P.S.表示
❸ EX.BASS 表示
❹ チューナー関連表示
❺ 文字情報表示
❻ CD、MD特殊再生表示

オートパワーセーブ機能について（A.P.S.：Auto Power Save）

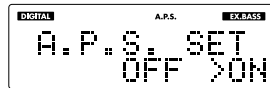
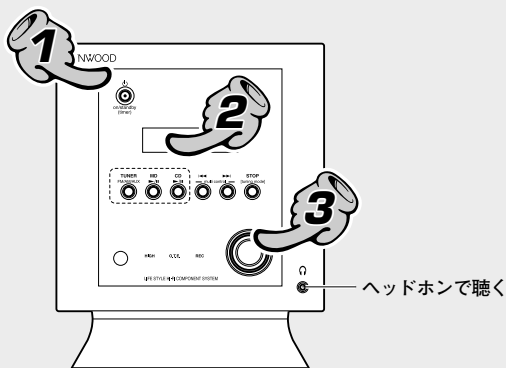
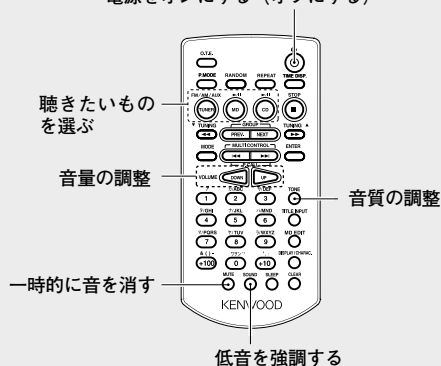
電源がオンで、CD、MDが停止状態のとき、30分以上放置すると自動的に電源がオフになる機能です。切り忘れたときなどに便利です。この機能は、次の操作でオン／オフが選べます。

❶ "A.P.S. SET" を選ぶ

⏮ または ⏭ キーを押して "A.P.S. SET" を選ぶ

（"A.P.S. SET" が点滅中に enter/demo キーを押す）

❷ "ON" または "OFF" を選択する

例："ON" を選択したとき

❸ 確定する

- この機能が働いているときは、表示部に「A.P.S.」が点灯します。
- 入力切換が TUNERまたはAUX のときは、音量がゼロ（VOLUME 0）または MUTE がオンのときに限り働きます。

基本的な使いかた

1. 電源をオンにする（オフにする）

電源がオンのときに ⏻ キーを押すとオフ（スタンバイ）になります。

- **TUNER FM/AM/AUX**、**CD ►/II**、**MD ►/II** キーを押しても、電源がオンになります。(ワンタッチオペレーション機能)
  CD、MDを選んだとき、すでにディスクが入っていると、再生が始まります。

2. 聴きたいものを選ぶ

例：CDを選ぶ時

CD → 22
MD → 25
ラジオ（TUNER FM/AM） → 28
外部入力（AUX） → 33 [インプットレベルを調整する]

- **TUNER FM/AM/AUX**、**CD ►/II**、**MD ►/II**キーを押すと、その入力に切り換わります。
  TUNER FM/AM/AUX キーは押すたびにFM放送、AM放送、AUXと切り換わります。

CDを選んだとき

3. 音量を調整する

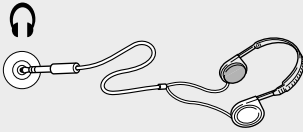
音量を下げる　音量を上げる

- 表示部に目安の数字が表示されます。
- リモコンのときは、**VOLUME UP** または **DOWN キー**を押します。

VOLUME　20

音量の表示

ヘッドホンで聴く

ヘッドホンのプラグをヘッドホン 端子に差し込む

- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

一時的に音を消す（MUTE）

リモコンのみ

ミュート中点滅

- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

音質の調整（TONE 機能）

リモコンのみ

低音域と高音域の調整をします。

❶ 音域を選びます

押すたびに切り換わります。

① BASS 0

"BASS"（低音域）の調整

② TREBLE 0

"TREBLE"（高音域）の調整

③ 元の表示

（20 秒以内に手順 ❷ を行う）

❷ 調整する

（他の音域を選ぶ時は手順 ❶、❷ を繰返します）

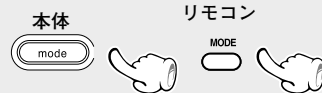
- “BASS”、“TREBLE” とも2ステップごとに、－8～＋8の範囲で調整できます。
- 音質の調整（TONE 機能）とEX.BASS 機能は、同時に働かせることはできません。

低音を強調する（EX. BASS 機能）

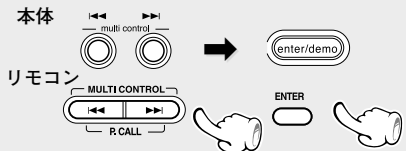
リモコンのみ

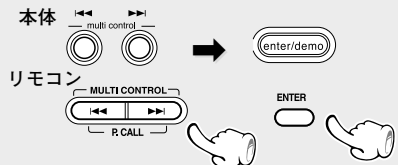
SOUND

押すたびに切り換わります。

① EX.BASS 点灯
低音域を強調します。
"EX.BASS ON" が表示されます。

EX.BASS

② 消灯
TONE 機能で調整された音になります。
"SOUND MODE OFF" が表示されます。

- EX.BASS 機能と音質の調整（TONE 機能）は、同時に働かせることはできません。

バランスの調整（BALANCE 機能）

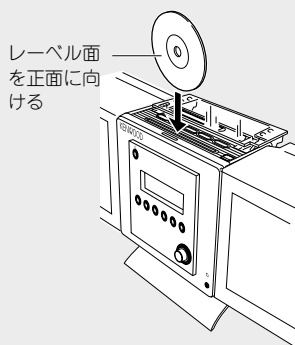
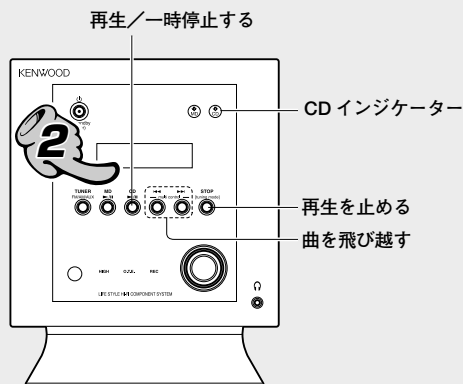
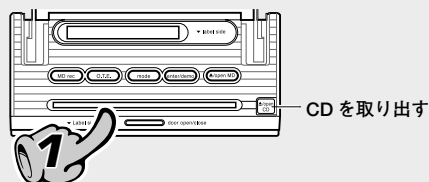
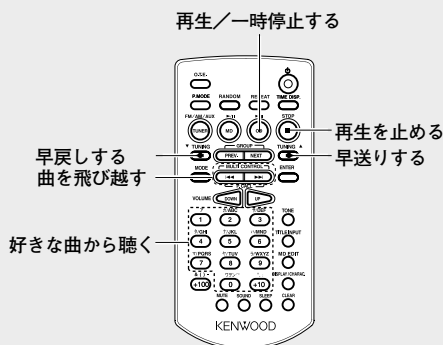
左右の音のバランスを調整します。

❶ mode キーを押す

❷ |◀◀または▶▶| キーを押して"BALANCE"を選び、enter/demo キーを押す

❸ |◀◀ または ▶▶| キーを押してバランスを調整し、enter/demo キーを押す

CD を聴く

CD プレーヤーにあらかじめディスクを入れておくと、CD ►/II キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。

再生／一時停止する
早戻しする
曲を飛び越す
好きな曲から聴く
再生を止める
早送りする
CD を取り出す
再生／一時停止する
CD インジケーター
再生を止める
曲を飛び越す

1. CD を入れる

**本体の door open/close キーを押してドアを開けてから、CD 挿入口の中央に CD を静かに入れます。
途中まで CD を入れると自動的に引き込まれます。**

- 再生面には触れないでください。
- CD を入れると本体正面の CD インジケーターが点灯します。CD インジケーターが点灯しているときは、入っている CD を取り出してから、聴く CD を入れてください。
- 特に 8cmCD の場合、CD 挿入口の中央からずれていると CD が引き込まれません、ご注意ください。
- CD が引き込まれないときは、CD を引出し、入れ直してください。

**スタンバイ状態時は、CD の出し入れはできません。
スタンバイ状態時に無理にCDを入れないでください。故障の原因となります。**

2. 再生をはじめる

- 数秒後に 1 曲目から再生がはじまります。
  再生が始まると、ドアが自動的に閉まります
- CD-TEXT 対応のディスクでは、タイトルが表示されます。

再生／一時停止する

● 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める

好きな曲から聴く

数字キーを押す順序は

23 曲目なら .... +10、+10、3

40 曲目なら .... +10、+10、+10、+10、0

早送り・早戻しする

● 再生中に押しつづけます。指を離したところから再生されます。

曲を飛び越す

● 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生されます。

● 再生中に|◄◄キーを押すと、その曲の最初に戻ります。さらに手前の曲に飛び越すときは素早く|◄◄キー を押します。

● 停止中に |◄◄ または ►►| キーを押して曲を飛び越した場合、飛び越した後自動的に再生がはじまります。

CD を取り出す

● ドアが閉じているときは、ドアが開いてから CD が CD 挿入口に出てきます。
もう一度 **▲/open CD** キーを押すと、さらにCDが上に出ます。8cmCD など取りにくいときは、**▲/open CD** キーを２回押すと便利です。

ドアは開いたまま長い間放置しないでください。
ドアを閉めるときは、**door open/close** キーを押します。CD が挿入口にあるときでもドアは閉まります。ただし、**▲/open CD** キーを２回押して CD を取り出したときは、**door open/close** キーを押してもドアは閉まりません。CD を挿入口から取り出してドアを閉めてください。

ラベルなどを貼りつけたCDはご使用にならないでください。故障の原因となります。

変形CD（星形、ハート形、カード形等）、ひび割れがあるCD、大きくそったCD、CD保護のためのスタビライザー等は、ご使用にならないでください。故障の原因となります。

本機は、CDを光学的に検知して内部へ引き込むため、透明なCDは使用することはできません。

CD プレーヤーの時間表示について

TIME DISP. キーを押すたびに表示部の時間表示が切り換わります。

① 曲の経過時間

② 曲の残り時間

③ CD 全体の経過時間

④ CD 全体の残り時間

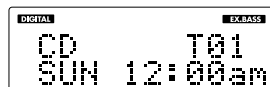
- 一曲リピート再生時や、ランダム再生時には、① と ② のみ表示されます。
- プログラムモードのときには、③ はプログラム全体の経過時間、④ はプログラム全体の残り時間が表示されます。
- 時間表示の合計が 1000 分以上になると "– –：– –" と表示されます。

表示の切り換えについて

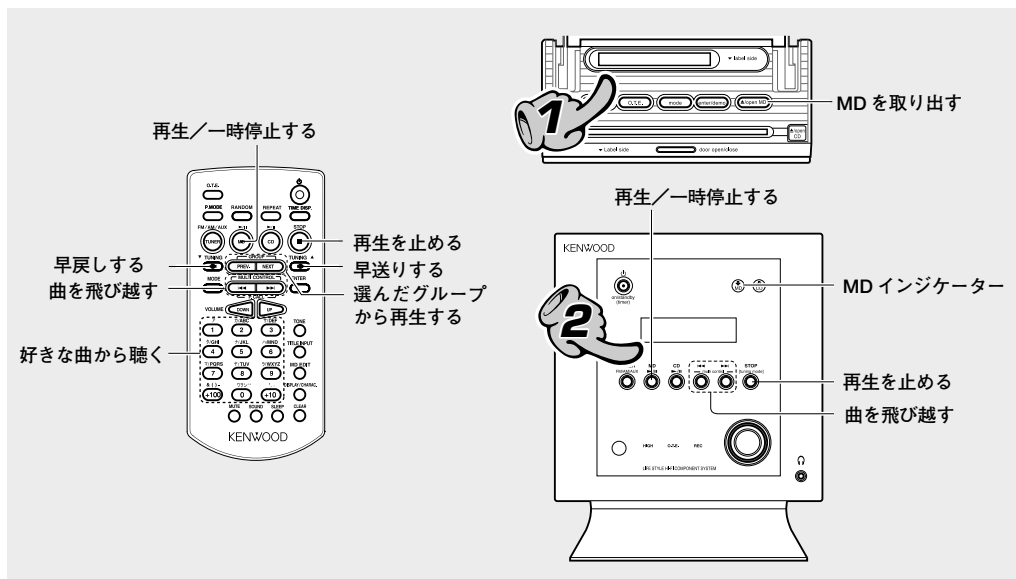
DISPLAY/CHARAC. キーを押すたびに表示部の表示が切り換わります。

リモコンのみ

DISPLAY / CHARAC.

① CD プレーヤーの時間表示
② タイトル表示
（CD-TEXT 対応ディスクのときのみ）
③ 時計表示

- 通常の CD（CD-TEXT に対応していないディスク）のときは、**DISPLAY/CHARAC.** キーを押すたびに①と③が表示されます。
- タイトル表示は、停止中はディスクのタイトル、再生中は曲のタイトルが表示されます。
- **"CHECK DISC"** が表示されているときは、表示を切り換えることはできません。→ 89

CD-TEXT 対応ディスクのタイトル表示について

本機は、タイトルがアルファベットや数字で収録されているCD-TEXT対応ディスクの文字情報が表示できます。入力切換が CD のとき、CD-TEXT 対応のディスクを本機に入れるとディスクタイトルが表示されます。タイトルが長い場合はスクロール表示されます。
CD-TEXT 対応のディスクを再生すると曲のタイトルが表示されます。

- CD-TEXT 対応のディスクでも表示できないものもあります。ディスクに収録された文字情報が 1536文字を超えると "**TEXT FULL**" と表示されます。

MD を聴く

MDレコーダーにあらかじめMDを入れておくと、MD ►/II キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。MD の曲は、録音したときの録音モード〔例：MDLP/ ステレオ 2 倍時間録音（LP2）など〕に従って再生されます。

再生／一時停止する

早戻しする

曲を飛び越す

好きな曲から聴く

再生を止める

早送りする

選んだグループから再生する

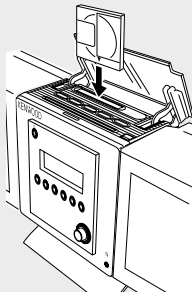
MD を取り出す

再生／一時停止する

MD インジケーター

再生を止める

曲を飛び越す

矢印の方向に入れる

1. MD を入れる

door open/closeキーを押し続けてドアをフルオープン状態にしてから、MD を本機の挿入口へ確実に入れてください

- 入力がMDのとき、MDにディスクタイトルが記録されている場合は、ディスクタイトルが表示されます。
- MDを入れると本体正面のMDインジケーターが点灯します。MDインジケーターが点灯しているときは、入っているMDを取り出してから、聴くMDを入れてください。

スタンバイ状態時は、MD の出し入れはできません。
スタンバイ状態時に無理にMDを入れないでください。故障の原因となります。

2. 再生をはじめる

- 数秒後に1曲目から再生がはじまります。
  再生が始まると、ドアが自動的に閉まります
- トラックタイトルが記録されているときは、再生中の曲のタイトルが表示されます。
- グループ機能に対応した他の機器で録音した MD を本機で使用すると正しく動作しないことがあります。

再生中のトラック番号

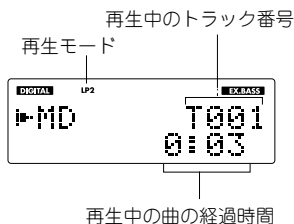
再生モード

再生中の曲の経過時間

再生／一時停止する

本体 MD ►/II　リモコン ►/II MD

▮▮MD (DIGITAL LP2)

- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める

好きな曲から聴く

リモコンのみ

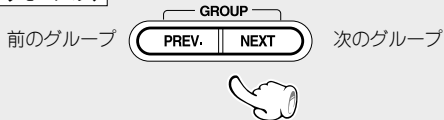
数字キーを押す順序は

23 曲目なら .... +10、+10、3
40 曲目なら .... +10、+10、+10、+10、0
202 曲目なら .... +100、+100、2

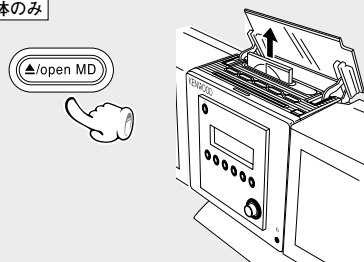
- MDのときのみ、100曲目以降も選ぶことができます。
- "READING"（リーディング） の点滅中に MD にないトラック番号を選ぶと、その MD に収録されている最後の曲が再生されます。

早送り・早戻しする

リモコンのみ

- 再生中に押しつづけます。指を離したところから再生されます。
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり音が出ません。

曲を飛び越す

- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生されます。
- 再生中に I◄◄キーを押すと、その曲の最初に戻ります。さらに手前の曲に飛び越すときは素早く I◄◄キー を押します。
- 停止中に I◄◄ または ►►I キーを押して曲を飛び越した場合、飛び越した後自動的に再生がはじまります。

選んだグループから再生する

リモコンのみ

- グループ機能でいくつかのグループに分けて録音されている MD のとき、選んだグループの最初の曲から MD に収録されている最後の曲まで再生します。（グループ再生のときにグループサーチをしたときは、選んだグループの曲だけが再生されます。➡59）

MD を取り出す

本体のみ

❶ **あらかじめ door open/close（ドア オープン クローズ）キーを押して、ドアをハーフオープン状態またはフルオープン状態にする**

❷ **▲/open（オープン） MD キーを押す**

MD が MD 挿入口に出てきます。

- ドアがハーフオープン状態のときは、フルオープン状態になってから MD が出てきます。

ドアを開いたまま長い間放置しないでください。
ドアを閉めるときは、MD を挿入口から取り出して door open/close（ドア オープン クローズ）キーを押します。

MD レコーダーの時間表示について

TIME（タイム） DISP.（ディスプレイ） キーを押すたびに表示部の時間表示が切り換わります。

リモコンのみ

TIME DISP.

① 曲の経過時間

DIGITAL LP2 EX.BASS
MD T001
0:00

② 曲の残り時間

DIGITAL LP2 EX.BASS
MD T001
-4:20

③ MD 全体の経過時間

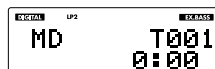
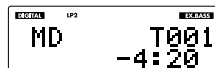
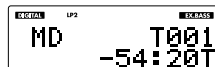
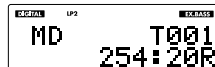
DIGITAL LP2 EX.BASS
MD T001
0:00T

④ MD 全体の残り時間

DIGITAL LP2 EX.BASS
MD T001
-54:20T

⑤ MD 録音残量時間

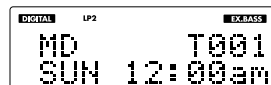
DIGITAL LP2 EX.BASS
MD T001
254:20R

- 一曲リピート再生時や、ランダム再生時には、① と ② のみ表示します。
- プログラムモードのときには、③ はプログラム全体の経過時間、④ はプログラム全体の残り時間を表示します。
- 時間表示の合計が 1000 分以上になると "－－：－－" と表示されます。
- 再生専用MD で ⑤ を表示させたときは 、"－－：－－" と表示されます。

表示の切換について

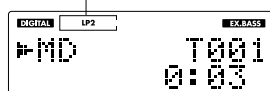
DISPLAY（ディスプレイ）/CHARAC.（キャラクター） キーを押すたびに表示部の表示が切り換わります。

リモコンのみ

① MD の時間表示
② タイトル表示
③ 時計表示

DIGITAL LP2 EX.BASS
MD T001
SUN 12:00am

- 曲名（トラックタイトル）ならびにMD名（ディスクタイトル）が登録されていない場合は、タイトル表示に "・・・・・・・"が表示されます。
- 1曲も録音されていない場合、"**BLANK（ブランク） DISC（ディスク）**" と表示されます。（ディスクタイトルがある場合、そのディスクタイトルが表示されます）
- **"BLANK（ブランク） DISC（ディスク）"**、**"CHECK（チェック） DISC（ディスク）"**、**"UTOC（ユートック） ERROR（エラー）"** が表示されているときは、表示を切り換えることはできません。→ 89

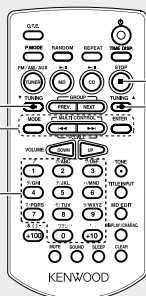
MDの再生モード表示について

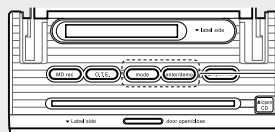
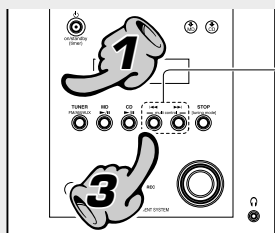
MDの曲は、録音したときのモードにしたがって再生されます。再生が始まると、再生モードが表示されます。

消灯 ： 標準ステレオ録音した曲（MDLPに対応していないMDレコーダーで録音した曲）を再生しているとき
MONO（モノラル） ： モノラル長時間録音した曲を再生しているとき
LP2 ： ステレオ2倍長時間録音した曲を再生しているとき
LP4 ： ステレオ4倍長時間録音した曲を再生しているとき

再生モード表示

DIGITAL LP2 EX.BASS
▶MD T001
0:03

MDLP について

MDLP は MD 規格に適合した新しい音声圧縮方式 ATRAC3 を採用して、ステレオ２倍（または４倍）の長時間録音、再生モードの機能を持った MD レコーダーやMDプレーヤーまたは､ATRAC3 により音声録音されているMD メディア（再生専用 MD）に表示されています。

ラジオ放送を聴く

TUNER（チューナー） FM/AM/AUX キーを押すだけで電源がオンになります。

1. 入力を FM または AM にする

TUNER（チューナー） FM/AM/AUX キーを押すたびに、次のように切り換わります

FM→AM→AUX

2. 放送局を記憶させる

放送局を自動的に記憶させる（オートプリセット） →29

お住まいの都道府県名を選ぶと､受信できる放送局が自動的にプリセット（記憶）されます。これらの 放送局を受信すると、放送局名が（FM 放送のみ）表示されます。

- 転居したときや改めて全局記憶させるときは､再度オートプリセットの操作をしてください。

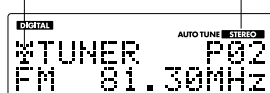
放送局を一つずつ記憶させる（マニュアルプリセット）→32

放送局を記憶させなくても選局できます。詳しくは " **記憶させていない放送局を聴く(オート選局、マニュアル選局)**" をお読みください。→31

3. 放送局を呼び出す（プリセットコール）

- オートプリセットまたはマニュアルプリセットで放送局を記憶させている場合､⏮ または ⏭ を押して選局します。

⏭ を押すと : P01 → P02 → P03 ..... P38 → P39 → P40 → P01 .....
⏮ を押すと : P40 → P39 → P38 ..... P03 → P02 → P01 → P40 .....

- 押したままにすると､約0.5秒間隔で放送局をスキップします。
- リモコンでは、⏮ P.CALL（プリセットコール） ⏭ キーあるいは数字キーを押して選局します。

数字キーを押す順序は

12 なら .... +10、2
20 なら .... +10、+10、0

受信すると表示（アンテナマーク）

ステレオ受信時に点灯

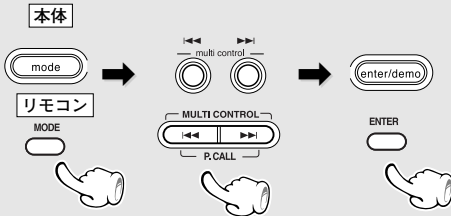
放送局を自動的に記憶させる（オートプリセット）（エリア別FM放送局名自動表示）

❶ 入力切換をFMまたはAMにする

本体　リモコン

❷ "ケンメイ　セッテイ"を選ぶ

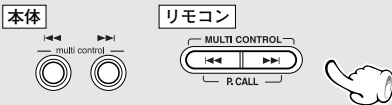
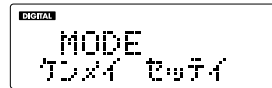
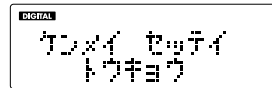
本体

リモコン

（"ケンメイセッテイ"が点滅中にenter/demo（エンター/デモ）キーを押す）

❸ お住まいの都道府県名を選ぶ

本体　リモコン

❹ オートプリセットを始める

本体　リモコン

メモ
オートプリセットはFMとAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録できます。
放送局名表示は"エリア別FM放送局名自動表示リスト"に載っているFM放送局のみに対応しています。→30

|◀◀または▶▶|キーを押して、"ケンメイ　セッテイ"を選ぶ

- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を設定していない場合は、"**ミセッテイ**"と表示されます。

"**トウキョウ**"を選択したとき

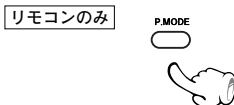
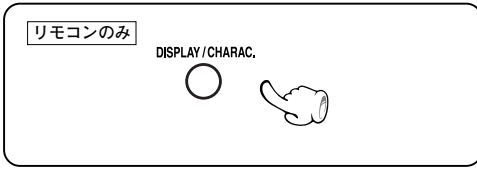
- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県名を設定したときは、"**エリア別FM放送局名自動表示リスト**"に従ってオートプリセットされます。

DIGITAL
TUNER　P--
AUTO PRESET

- "**AUTO PRESET**（オート プリセット）"表示が点滅し、FM局➡AM局の順に記憶していきます。
- リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。
- 受信中の周波数の放送局名が設定されていない場合、および 電波が弱くアンテナマークが点灯していない場合は、放送局名は表示されせん。
- オートプリセットが終ると、一番最初に記憶された放送局名が表示されます。
- すでに記憶されている放送局は書き換えられます。

希望の放送局名が表示されないとき

地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されないときは、リモコンのP.MODE（モード）キーを押してリストにある別の放送局名にかえることができます。押すたびに切り換わります。

リモコンのみ

エリア別FM放送局名自動表示リスト

2003年4月現在

	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G’
	エフエム・ノースウェーブ	NORTH WAVE
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	Date fm
	エフエム秋田	エフエムアキタ
	エフエム山形	BOY FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J - WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ホウソウダイガク
	エフエム群馬	FM GUNMA
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	BayFM
	横浜エフエム放送	Fm yokohama
	エフエム富士	FM-FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FM NIIGATA
	長野エフエム放送	FM NAGANO
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FM ISHIKAWA
	福井エフエム放送	FMフクイ
	静岡エフエム放送	K・MIX
	岐阜FM放送	ギフFM
	新潟県民エフエム	FmPort.com
中部地方	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP - FM
	愛知国際放送	RADIO-i
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファStation
	エフエム滋賀	e - radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまるに	FM802
	関西インターメディア	FM CO・CO・LO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM
中国・四国地方	エフエム岡山	FMオカヤマ
	エフエム山陰	V - air
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	Passion Wave
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FM KOCHI
九州・沖縄地方	エフエム福岡	fm fukuoka
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	SMILE-FM
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY FM
	エフエム鹿児島	ミューFM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK第一放送	NHKラジオ1
	AFNオキナワ	AFNオキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

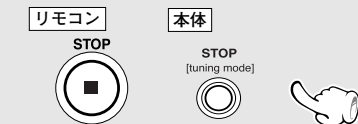
表示を切り換える

押すたびに次のように切り換わります。

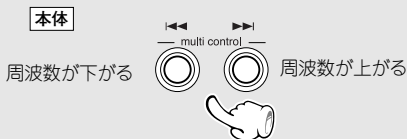
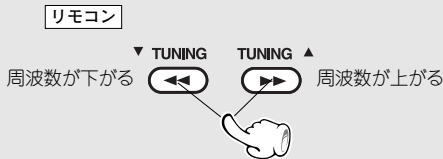
オートプリセットで記憶したとき：

FM 放送局名 ➡ 周波数 ➡ 時計の順に切り換わります。

- 電波の受信状態などで、FM 放送局名が表示されないことがあります。

オートプリセットで記憶していないとき：

周波数 ⬌ 時計に切り換わります

記憶させていない放送局を聴く（オート選局、マニュアル選局）

電波の強弱の状態により選局モードを選びます。

電波の状態が良いとき　：　オート選局モード

電波が弱く雑音が多いとき　：　マニュアル選局モード

❶ オート選局とマニュアル選局を切り換える

❷ 選局をする

リモコン

▼ TUNING　TUNING ▲

周波数が下がる　周波数が上がる

本体

周波数が下がる　周波数が上がる

- FM 放送はマニュアル選局モード時、モノラル受信となります。

押すたびに切り換わります。

① **" オート選局 "**　**:** ステレオ受信（"**AUTO TUNE**" 点灯）

② **" マニュアル選局 "**　**:** モノラル受信（"**AUTO TUNE**" 消灯）

- 通常はオート選局（ステレオ受信）を選んでください。

リモコン

オート選局のとき：

TUNING ▲または**TUNING**▼ キーを押すたびに次の放送局を自動的に受信します。

マニュアル選局のとき：

受信するまで繰り返し **TUNING** ▲または **TUNING** ▼ キーを押します。または受信したい放送局の周波数になるまで **TUNING** ▲または **TUNING** ▼ キーを押し続け、指を離します。

本体

表示部に "AUTO TUNE" または "MANUAL TUNE" が表示されている間に、⏮ または ⏭ キーを使って操作します。

- **"AUTO TUNE"”** または **"MANUAL TUNE"** が消えたときは、もう一度 **STOP /[tuning mode]キー**を押してから操作してください。

オート選局のとき：

⏮ または ⏭ **キー**を押すたびに次の放送局を自動的に受信します。

マニュアル選局のとき：

受信するまで ⏮ または ⏭ **キー**を繰り返し押します。または受信したい放送局の周波数になるまで ⏮ または⏭ **キー**を押し続け、指を離します。

放送局を一つずつ記憶させる（マニュアルプリセット）

❶ "記憶させていない放送局を聴く（オート選局、マニュアル選局）" の手順を行なって記憶させたい放送局を受信する

❷ 受信中にENTER（エンター）キーを押す

リモコン　本体

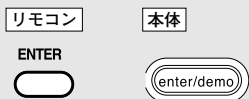
ENTER　enter/demo

DIGITAL　AUTO TUNE STEREO
※MEMORY　P--
FM　76.10MHz

"MEMORY（メモリー）" 表示(20秒間)

（"MEMORY（メモリー）" 表示中に、手順❸へ）

- FMとAM放送局合わせて、最大40局まで放送局を記憶できます。

---

❸ 1～40までのプリセット番号を選ぶ

リモコン

本体

DIGITAL　AUTO TUNE STEREO
※MEMORY　P17
FM　76.10MHz

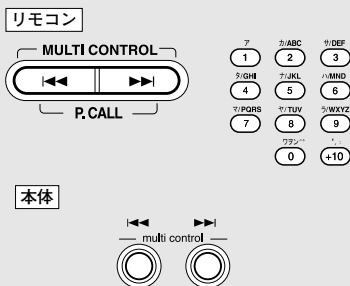
- すでに記憶されている番号に重ねて記憶させると、新しい設定内容に変更されます。
- リモコンの数字キーを使うときは、次のように押します。

数字キーを押す順序は

12なら .... +10、2

20なら .... +10、+10、0

❹ もう一度ENTER（エンター）キーを押す

リモコン　本体

（続けてプリセットする場合は、放送局を選んで手順❶、❷、❸、❹を繰り返す）

プリセットした放送局を消す

❶ リモコンの数字キーまたは |◀◀ P.CALL（プリセットコール） ▶▶| キーを使って消去したい放送局を選ぶ

❷ CLEAR（クリアー）キーを押す

"CLEAR?（クリア）" と約8秒間表示されます。

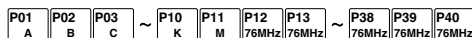
❸ "CLEAR?（クリア）" が表示されている間にENTER（エンター）キーを押す

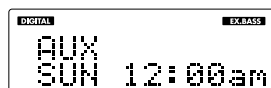
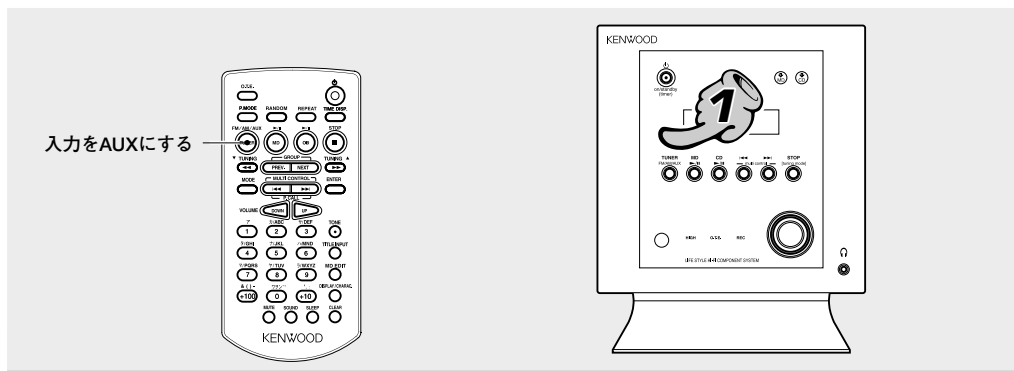
放送局がプリセットから消去されます。

プリセット11（P11）に記憶させたL局を消去する例：

P01	P02	P03	～	P10	P11	P12	P13	～	P38	P39	P40
A	B	C		K	L	M	76MHz		76MHz	76MHz	76MHz

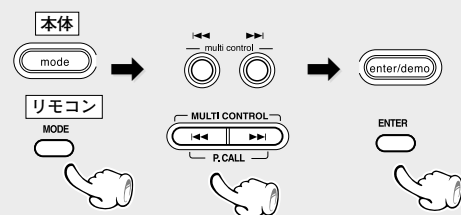
↓

P01	P02	P03	～	P10	P11	P12	P13	～	P38	P39	P40
A	B	C		K	M	76MHz	76MHz		76MHz	76MHz	76MHz

- 消去されたプリセット番号以降のプリセット番号は前に調整されます。
ただし、プリセット番号40に記録された放送局は消去できません。

外部入力機器からの音を聴く

TUNER FM/AM/AUX キーを押すだけで電源がオンになります。

1. 入力を AUX にする

TUNER FM/AM/AUX キーを押すたびに、次のように切り換わります。

FM→AM→AUX

DIGITAL　EX.BASS
AUX
SUN 12:00am

2. 接続した機器を再生する

AUX からの入力レベルを調整するときは、
下の説明「インプットレベルを調整する」をご覧ください。

インプットレベルを調整する（入力が AUX のとき操作します）

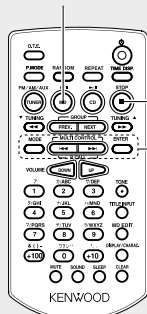
AUX 入力端子に接続された外部機器（ビデオデッキ等）からのインプットレベルを調整します。CD、MD 等と同じくらいの大きさで聞こえるように、必要に応じて調整してください。

❶ mode キーを押して設定モードにし、⏮ または ⏭ キーを押して "AUX INPUT" を選び、enter/demo キーを押す

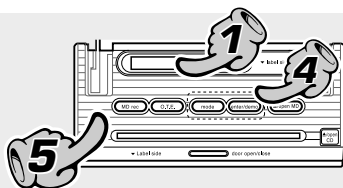
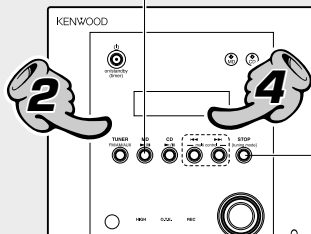
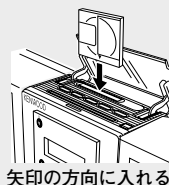
（"AUX INPUT" が点滅中に enter/demo キーを押す）

❷ ⏮ または ⏭ キーを押してインプットレベルを調整する

❸ enter/demo キーを押す

⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

"REC MODE"
"REC SPEED"
"REC OPTIONS"
"AUX INPUT"
"BALANCE"
"A.P.S. SET"
"DISPLAY SET"
"TIME ADJUST"
"TIMER SET"

- －３～+3 の範囲で調整ができます。
- インプットレベルを調整すると、AUX 入力端子に接続された外部入力機器からの録音レベルも変化します。

MD に録音する

CD は簡単な操作で録音することや短時間で録音することもできます。CD を録音するときは " 便利な録音あれこれ " を参照ください。→43

1. 録音の準備をする

矢印の方向に入れる

❶ MD の誤消去防止つまみを録音可能な状態にする →85
❷ MD を入れる →25

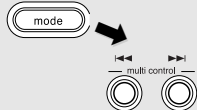
スタンバイ状態時は、MD の出し入れはできません。スタンバイ状態時に無理に MD を入れないでください。故障の原因となります。

"MD"以外の入力ソースを選ぶ

例：CDを選ぶ時

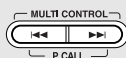
CD ►/II

2. 何を録音するか選ぶ

TUNER（ラジオ放送） ：アナログ録音のみ
AUX（外部入力ソース） ：アナログ録音のみ
CD ：デジタルまたはアナログ録音

- すでに CD が入っているときは再生が始まります。**STOP/ [tuning mode]** キーを押して止めます。
- CD-TEXT対応ディスクに記録されているテキストデータは、MDに記録されません。

3. ソース（音源）の準備をする

TUNER (ラジオ放送) ： 選局する
AUX (外部入力ソース) ： 受信や再生などの準備をする
CD ： CD を入れ、録音したい曲（トラック）のはじめで再生一時停止にする →23

- CDの録音をするときは、デジタル録音またはアナログ録音を必要に応じて選んでください。 →38
- 外部入力機器からの録音のときは、インプット(録音)レベルを調整することができます。 →33
- ラジオ放送の録音をするときは、自動的にトラック番号を付けて録音します。トラック番号を付ける間隔は、5分または10分(初期設定は5分)のどちらかを選ぶことができます。 →38
- 録音中の音を大音量で聴くと、録音したMDを再生したときに音飛びが発生することがあります。録音中は音量を少し下げてください。

4. 録音モード設定をする（REC MODE）

本体

本機は、MD のステレオ長時間録音に対応しています（MDLP 対応）。録音モードにはステレオ録音、ステレオ 2 倍長時間録音、ステレオ 4 倍長時間録音、モノラル長時間録音があり、本機の MD で録音できるすべての音源（ソース）に使用できます。
また、同じMDに異なる録音モードの曲を混在させることもできます。

❶ **modeキーを押して設定モードにし、⏮ または ⏭ キーを押して、"REC MODE" を選び enter/demo キーを押す**

❷ **⏮ または ⏭ キーを押してお好みの録音モードを選ぶ**

⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

- **"STEREO"（ステレオ録音):** MD カートリッジに表示されている時間分録音できます
- **"LP2"（ステレオ 2 倍長時間録音):** MD カートリッジに表示されている約 2 倍の時間分録音できます（"**LP 2**" 点灯）
- **"LP4"（ステレオ 4 倍長時間録音):** MD カートリッジに表示されている約 4 倍の時間分録音できます（"**LP 4**" 点灯）
- **"MONO"（モノラル録音):** MDカートリッジに表示されている約2倍の時間分のモノラル録音ができます（"**MONO**" 点灯）

❸ **enter/demo キーを押す**

- **"LP2"** または **"LP4"** を選んだときは、❹ に進みます。
  "STEREO" または **"MONO"** を選んだときは、設定は終了です。

長時間録音モード（LP2、LP4）で録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。

❹ **⏮ または ⏭ キーを押して "LP : STAMP ON" または "LP : STAMP OFF" を選ぶ**

- **"LP : STAMP ON" :** 曲タイトルの頭の部分に "**LP :** " の文字が入る〔LP スタンプ (STAMP) 機能 →37〕
- **"LP : STAMP OFF" :** 曲タイトルの頭の部分に "**LP :** " の文字が入らない

❺ **enter/demo キーを押す**

- **"LP : "** は曲タイトルの文字数に含まれます。**"LP : "** をつけた曲が極端に多い MD などでは、タイトル入力ができないことや登録できるグループの数が減ることがあります。→37 →52

次のページに続く

5. 録音をはじめる（本体のみの操作です）

❶ MD rec キーを押す（REC インジケータが点滅し、録音一時停止状態になります）

❷ 準備ができていれば、再度 MD rec キーを押す（REC インジケータが点灯に変わり、録音がはじまります）

❸ ソース（音源）の再生を始める（ラジオの場合は、この手順は不要です）

- CD を録音するとき、❶ のあとに **CD ►/II** キーを押すと、CD の再生と同時に録音が始まります。(CDシンクロ録音)
- CD によってはデジタル録音できないことがあります（**" デジタル録音と SCMS について "**→85）。

録音を一時停止する

- 再び録音を始めるときは、もう一度押します。このとき、トラック番号は "1"繰り上がります。**MD rec** キーを押しても録音を始めることができます。

録音を停止する

- "**MD WRITING**"（ライティング）表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"**MD WRITING**" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。
- CD を録音しているときは、CD プレイヤーも停止します。（シンクロ機能）

録音中の表示について

録音中は、MD の録音残量時間が表示されます。DISPLAY/CHARAC.（ディスプレイ/キャラクター）**キーを押して、録音中のソース（音源）表示と MD の時間表示に切り換えることができます。**

MD の時間表示にしたときは、TIME DISP.（タイム ディスプレイ）**キーを押して録音可能残り時間、録音中の曲の経過時間に表示を変えることができます。**
CD の時間表示にしたときは、TIME DISP.（タイム ディスプレイ）**キーを押して、CDの時間表示を切り換えることができます。**→24

録音時のトラック番号について

CDのアナログ録音、AUXからの録音のとき、音のない部分が3秒以上続いた後、次の音が入ってくると、トラック番号を自動的に "1" 繰り上げます（ただし、録音する音楽ソースのノイズなどにより、トラック番号が繰り上がらない場合があります）。また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が繰り上がる場合があります。ラジオを録音中は、トラック番号は "AUTO MARK"（オート マーク）**で設定した時間ごと（5分または10分）に自動的に繰り上がります。付いたトラック番号は、あとで編集できます。**

- CDからのデジタル録音では、曲が変わるとトラック番号が繰り上がります。

CDを録音しているとき、CDの再生が始まるとトラック番号が "1" 繰り上がる場合があります。これはCDのデジタル信号成分中に含まれる信号によるものです。不要なトラック番号は **"1曲または MD の全曲を消す（ERASE**（イレース）**）"** を参照して削除してください。→64

録音の途中でトラック番号を繰り上げたいときは、MD EDIT（エディット）**キーを押します。その位置にトラック番号を付けることができます。**
トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

リモコンのみ

ディスプレイのメッセージについて

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

"DISC FULL"（ディスク フル）：MD が一杯になっている。
➡ 不要な曲を消す。→64

"PROTECTED"（プロテクテッド）：誤消去防止つまみが開いている。
➡ 閉める。→85

"PLAY ONLY"（プレイ オンリー）：再生専用 MD である。
➡ 録音用ディスクを入れる。

"CHECK DISC"（チェック ディスク）：MD の TOC 情報を読むことができない。
MD が正しく挿入されていない。
➡ MDを正しく入れ直す。→25

MD のステレオ長時間録音と再生について

本機は、MD のステレオ長時間録音に対応しています。（MDLP 対応機器です）
録音モードにはステレオ録音、モノラル長時間録音、ステレオ 2 倍長時間録音、ステレオ 4 倍長時間録音があります。
また、同じ MD に異なる録音モードの曲を混在させて録音することもできます。

ステレオ長時間録音について (LP2、LP4)

ステレオ長時間録音は、ステレオ録音、モノラル録音に比べ音声のデジタル圧縮率をさらに高め、長時間での録音を可能にしています。LP4 モードは LP2 モードに比べさらに圧縮率を高め、長時間録音をします。

- 本機の MD でステレオ 2 倍長時間録音（LP2）またはステレオ 4 倍長時間録音（LP4）で録音された曲は、MDLP に対応した機器で再生することができます。
- MDにステレオ音声で録音する場合､長時間録音になるにしたがって録音される音質が変化します。最も良い音質で録音したいときは、ステレオ録音（STEREO（ステレオ））で録音してください。

LP スタンプ（STAMP（スタンプ））機能

本機でステレオ 2 倍長時間録音（**LP2**）またはステレオ 4 倍長時間録音（**LP4**）で録音された曲のタイトルの始めの部分に "**LP：**" を自動的につける機能です。
"**LP：**" は、MDLP に対応していない機器でステレオ 2 倍長時間録音（**LP2**）またはステレオ 4 倍長時間録音（**LP4**）された曲を再生しているときだけ、タイトルとして表示されます。
本機では、LP スタンプ（STAMP（スタンプ））機能のオン（"**LP：**" をつける）またはオフ（"**LP：**" をつけない）の設定をすることができます。
本機で再生したときは、"**LP：**" 表示されません。
曲のタイトル入力をするときには､曲タイトルの頭の部分に **"LP："** が表示されます。
MDに入力できる制限に近い文字数がタイトル入力されている場合､グループの登録や編集ができないことがあります。LP スタンプ機能で自動的に付く **"LP："** も文字数に含まれます。

録音モードの種類

ステレオ録音（STEREO（ステレオ））：
録音可能時間は MD カートリッジに表示されている時間になります。

ステレオ 2 倍長時間録音（LP2）：
音声はステレオのまま、録音可能時間が MD カートリッジに表示されている約 2 倍の時間になります。

ステレオ 4 倍長時間録音（LP4）：
音声はステレオのまま、録音可能時間が MD カートリッジに表示されている約 4 倍の時間になります。

モノラル長時間録音（MONO（モノラル））：
録音される音声はモノラルになります。録音可能時間は MD カートリッジに表示されている約 2 倍の時間になります。

LP2、LP4 モードで録音した MD を LP2、LP4 モードに対応していない機器で再生した場合

ステレオ長時間モードに対応していない機器でステレオ長時間録音した曲を再生すると再生状態にはなりますが音は出ません｡ステレオまたはモノラル録音とステレオ長時間録音された曲が混在している MD を再生したときは､ステレオまたはモノラル録音された曲だけ音が出ます。
このようなMDを再生した場合､音が出ていないときに音量を上げすぎると､ステレオまたはモノラル録音された曲にかわったときに突然大きな音がでることになります。音量の上げすぎに注意してください。

異なる録音モードで録音した曲は MD の編集機能で制限があります。" **曲をつなぐ（COMBINE（コンバイン））** " →66

録音に必要な設定

CD から録音するときとラジオ放送から録音するときに必要な設定をします。
設定には、設定モードの **"REC OPTIONS"** を使います。

CD から録音するとき

グループ録音の設定（GROUP MAKE）とデジタルまたはアナログ録音の切り換え（REC INPUT）ができます。

グループ録音の設定（GROUP MAKE）：ワンタッチエディット全曲録音のときに有効な設定です。→43

MODE
REC OPTIONS

❶ **mode キーを押して設定モードにし、⏮ または ⏭ キーを押して "REC OPTIONS" を選び、enter/demo キーを押す**

REC OPTIONS
GROUP MAKE

❷ **⏮ または ⏭ キーを押して "GROUP MAKE" を選び、enter/demo キーを押す**

❸ **⏮ または ⏭ キーを押して "ON" または "OFF" を選び、enter/demo キーを押す**

"ON" ：1 枚の CD を 1 つのグループにして録音します。
"OFF" ：グループ録音を解除します。

- グループ機能については「**MD のグループ機能**」→52 をご覧ください。

デジタルまたはアナログ録音の切り換え（REC INPUT）

❶ **mode キーを押して設定モードにし、⏮ または ⏭ キーを押して "REC OPTIONS" を選び、enter/demo キーを押す**

❷ **⏮ または ⏭ キーを押して "REC INPUT" を選び、enter/demo キーを押す**

REC OPTIONS
REC INPUT

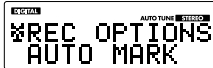
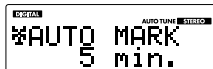
❸ **⏮ または ⏭ キーを押して "CD→MD digital" または "CD→MD analog" を選び、enter/demo キーを押す**

REC INPUT
CD→MDdigital

"CD → MD digital" ：CD を MD にデジタル録音します。
"CD → MD analog" ：CD を MD にアナログ録音します。

- **"CD → MD digital"** のときは、表示部の **"DIGITAL"** 表示が点灯します。
- アナログ録音の設定は電源をオフにすると解除され、**"REC INPUT"** はデジタル録音に設定されます。
- CD の録音は SCMS（→85）によりデジタル録音できない場合があります。そのようなときは、アナログ録音に切り換えてください。

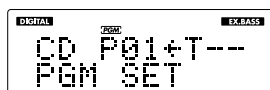
ラジオから録音するとき

トラックマーク（トラック番号）を自動で付ける間隔の設定（AUTO MARK）ができます。
"AUTO MARK" は、入力切り換えがチューナーのときだけ設定できます。
チューナーに切り換えて操作してください。

❶ **mode キーを押して設定モードにし、⏮ または ⏭ キーを押して "REC OPTIONS" を選び、enter/demo キーを押す**

❷ **⏮ または ⏭ キーを押して "AUTO MARK" を選び、enter/demo キーを押す**

❸ **⏮ または ⏭ キーを押して "5min." または "10min." を選び、enter/demo キーを押す**

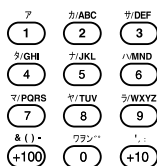
"5min." ：ラジオを録音中、5 分間隔でトラックマークを付けます。
"10min." ：ラジオを録音中、10 分間隔でトラックマークを付けます。

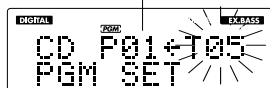
CDとMDのいろいろな再生

曲順を並べ替えて聴く（プログラム再生）

好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます（最大32曲）。リモコンを使って操作します。

再生に応じて、入力を"CD"または"MD"にする。停止中に操作してください。

1 "PGM"モードを選ぶ

CD P01←T--
PGM SET

- グループ登録したMDのときは、**P. MODE キー**を２回押して"**PGM**"表示を点灯させます。

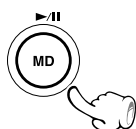
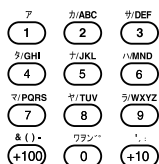
2 聴きたい順に曲を選ぶ

（20秒以内に手順❷を行う）

数字キーを押す順序は

12曲目なら .... +10、2
40曲目なら .... +10、+10、+10、+10、0
202曲目なら .... +100、+100、2

- 曲は ⏮ または ⏭ キーでも選ぶことができます。
- MDのときのみ、100曲目以降も選ぶことができます。

❷ 確定する

（2曲以上選ぶときは手順❶、❷を繰り返す）

- 32曲までプログラムできます。"**PGM FULL**"が表示されると、それ以上プログラムできません。
- 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。
- プログラム時間の合計が1000分以上になると、時間表示が"ー ー：ー ー"になります。
- ❶で曲（トラック番号）を間違えたときは、**STOP ■キー**を押してから選び直します。
  ❷の後、プログラムを修正したいときは、「**プログラムした曲を取り消すには**」（→40）の操作をしてください。

3 再生する

- プログラムで選んだ順（P番号順）に再生されます。
- 再生中に ⏮ キーを1回押すと、再生中の曲を最初から再生します。
  前の曲へ飛び越すときは、⏮ キーを２回押します。
- 再生中に ⏭ キーを１回押すと、次の曲へ飛び越して再生します。

曲を追加するには

❶ 数字キーで追加したい曲番号を選ぶ

停止中に押す

数字キーを押す順序は

12曲目なら .... +10、2
40曲目なら .... +10、+10、+10、+10、0
202曲目なら .... +100、+100、2

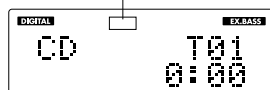
- 曲は ⏮ または ⏭ キーでも選ぶことができます。
- MDのときのみ、100曲目以降も選ぶことができます。

❷ ENTER キーを押す

- 最大32曲までプログラムできます。"PGM FULL" が表示されると、それ以上プログラムできません。
- 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。

プログラムした曲を取り消すには

P10が取り消されたとき

- 押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

プログラムを解除するには

- 本機でのCDとMDを組み合わせたプログラムはできません。
- 電源をオフにしたり、プログラムしたディスクを取り出すと、プログラムモードを解除します。このとき、設定したプログラム内容は消えます。

繰り返し聴く（リピート再生）

お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。リモコンを使って操作します。

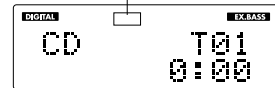
再生に応じて、入力を "CD" または "MD" にする。

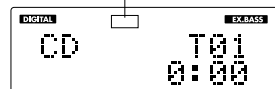
1曲を繰り返し聴くとき

❶ "PGM" 表示の消灯を確かめる

● "PGM" 表示が点灯しているときは、停止中に **P.MODE** キーを押して消灯させてください。

❷ 繰り返したい曲を再生する

または

❸ "REPEAT 1" を選ぶ

押すたびに切り換わります。

① **"REPEAT 1"**
② **"REPEAT"**
③ **消灯** .... リピート解除

全曲を繰り返し聴くとき

❶ "PGM" 表示の消灯を確かめる

● "PGM" 表示が点灯しているときは、停止中に **P.MODE** キーを押して消灯させてください。

❷ "REPEAT" を選ぶ

押すたびに切り換わります。

① **"REPEAT 1"**
② **"REPEAT"**
③ **消灯** .... リピート解除

❸ 再生する

または

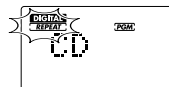
選んだ曲だけを繰り返し聴くとき

❶ "曲順を並べ替えて聴く（プログラム再生）"の手順 1 と 2 までを行い、聴きたい曲をプログラムする → 39

❷ "REPEAT" を選ぶ

❸ 再生する

REPEAT キーを押すたびに切り換わります。

① "REPEAT"
② 消灯 .... リピート解除

- 選んだ曲全部を繰り返します。

繰り返し再生をやめるには

REPEATキーをリピートモードが解除になるまで押します。

- "REPEAT" 表示が消灯し、CD プレーヤーまたは MD レコーダーのモードに従った再生に戻ります。

曲順を順不同に楽しむ（ランダム再生）

毎回曲がランダム（無作為）に選択されるので、飽きることなく楽しめます。リモコンを使って操作します。

再生に応じて、入力を "CD" または "MD" にする。

❶ "PGM" 表示の消灯を確かめる

- "PGM" 表示が点灯しているときは、停止中に **P.MODE** キーを押して消灯させてください。

"PGM" 消灯

DIGITAL　EX.BASS
CD　T01
0:00

❷ RANDOM キーを押す

押すたびに切り換わります。

① "RANDOM" 点灯
（ランダム再生する）
② "RANDOM" 消灯
（通常の再生）

- 全曲の再生が 1 回終わると停止します。
- REPEAT キーを押すと、ランダム再生が繰り返されます。

曲の途中で別の曲を選ぶには

- |◄◄ キーを押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

- "RANDOM" 表示が消灯し、再生が停止します。

便利な録音あれこれ

本機では、通常の録音の他に次のような CD 録音機能があります。用途に応じて選んでください
MD への録音は、すべての録音機能で ATRAC3（MDLP）での長時間録音ができます。

CD を短時間で録音したいときは [ワンタッチエディット 4 倍速録音] →44

全曲 4 倍速録音

CDの全曲を通常録音の約 4 分 1 の時間で録音することができます。

一曲 4 倍速録音

聴いているCDの1曲だけを通常録音の約 4 分 1 の時間で録音することができます。
（初めて聴くCDから､気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。）

CD の録音を簡単にしたいときは [ワンタッチエディット] →47

全曲録音

CD の全曲を簡単に録音できます。

一曲録音

聴いている CD の 1 曲だけを録音できます。
（初めて聴く CD から、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。）

CD の曲を選び曲順を並びかえて録音をしたいときは →49

プログラム録音

CD の曲をプログラムした曲順で録音します。
4 倍速録音で録音することもできます。

ワンタッチエディット録音（O.T.E.）について

ワンタッチエディット録音では、録音モードや録音スピードの設定を変えないで録音するとき、各録音操作で“録音モードの設定”や“録音スピードの設定”を省略することができます。
それぞれの設定は、以下の方法で確認することができます。

録音モードの確認のしかた

MD の停止中に表示部で録音モードの表示を確認します。

- "LP2、LP4、MONO" 消灯 .... ステレオ録音モードに設定
- "LP2" 点灯 .... ステレオ 2 倍長録音モードに設定
- "LP4" 点灯 .... ステレオ 4 倍長録音モードに設定
- "MONO" 点灯 .... モノラル 2 倍長録音モードに設定

LP スタンプ機能の ON/OFF を確認するときは、各録音操作で録音モードを選ぶ操作が必要となります。

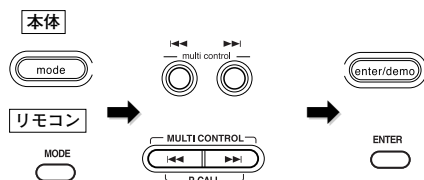
録音スピード設定の確認のしかた

本体の "HIGH" インジケーターの消灯 / 点灯を確認します。

- "HIGH" 消灯 .... 通常速録音に設定
- "HIGH" 点灯 .... デジタル 4 倍速録音に設定

CD のワンタッチエディット 4 倍速録音

CD の全曲を、MD に 4 倍速録音できます。(4 倍速全曲録音)
CD を聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。(4 倍速一曲録音)

- アナログ録音では 4 倍速録音はできません。

MD レコーダーは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

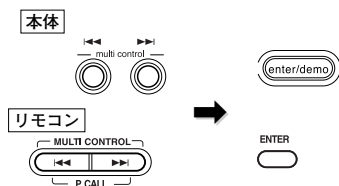
❶ 入力を "CD" にする

❷ "RANDOM" 表示の消灯を確かめる

❸ MD レコーダーに録音可能な MD を入れる

❹ CD プレーヤーに CD を入れる

- "RANDOM" 表示が点灯しているときは、STOP キーを押してランダム再生モードを解除します。
- グループ録音しないときは、グループ録音の設定をオフにしておきます(全曲録音のときのみ)。 →38

2 録音モードを選ぶ

- 録音モードの設定を変更しないときは、3 に進みます。

❶ mode キーを押して設定モードにし、|◀◀ または ▶▶| キーを押して、"REC MODE" を選び enter/demo キーを押す

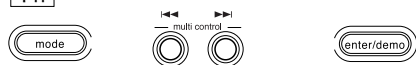
DIGITAL　EX.BASS
REC MODE
STEREO

❷ |◀◀または ▶▶| キーを押してお好みの録音モードを選び enter/demo キーを押す

|◀◀ または ▶▶| キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① **"STEREO"**:ステレオ録音モード
② **"LP2"**　:ステレオ 2 倍長時間録音モード
③ **"LP4"**　:ステレオ 4 倍長時間録音モード
④ **"MONO"**:モノラル長時間録音モード

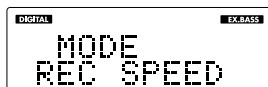
- **"LP2"** または **"LP4"** を選んだときは、❸ に進みます。
  "STEREO" または "MONO" を選んだときは、3 に進みます。

❸ |◀◀ または ▶▶| キーを押して "LP : STAMP ON" または "LP : STAMP OFF" を選び enter/demo キーを押す

|◀◀ または ▶▶| キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① **"LP : STAMP ON"**:曲タイトルの頭の部分に "**LP :**" の文字が入る 〔LP スタンプ (STAMP) 機能 →37〕
② **"LP : STAMP OFF"**:曲タイトルの頭の部分に "**LP :**" の文字が入らない

3 録音スピードを選ぶ

❶ mode キーを押して設定モードにし、⏮ または ⏭ キーを押して、"REC SPEED" を選び enter/demo キーを押す

● 録音スピードが4倍速録音に設定されているときは、5 に進みます。

❷ ⏮ または ⏭ キーを押して "REC SPEED HIGH" を選び enter/demo キーを押す

⏮ または ⏭ キーを押すたびに切り換わります。

① **"REC SPEED NORMAL"：** 通常速度で録音するときに選びます

② **"REC SPEED HIGH"：** 4倍速録音するときに選びます

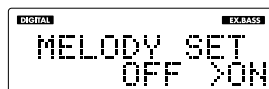
● "**REC SPEED HIGH**" を選ぶと、本体の "**HIGH**" インジケータが点灯します。

4 メロディを設定する

⏮ または ⏭ キーを押して "MELODY SET ON" または "MELODY SET OFF" を選び enter/demo キーを押す

⏮ または ⏭ キーを押すたびに切り換わります。

① **"MELODY SET ON"：** 録音終了を知らせるメロディーが鳴ります。

② **"MELODY SET OFF"：** 録音終了を知らせるメロディーは鳴りません。

● 4倍速録音中、CD の音を聞くことはできません。

5 CD の再生状態を確認する

全曲録音するとき	1曲録音するとき
再生中のときは停止させる 本体 STOP [tuning mode] リモコン STOP	**録音したい曲を再生する** ● 曲の途中で手順 6 を行っても、再生中の曲の最初に戻り、録音がはじまります。 **（他の曲を録音するときは、手順 5 と 6 を繰り返します）**

6 録音を始める

O.T.E キーを押す

録音が終了すると.....

MD レコーダー ： 停止し、"MD WRITING(ライティング)" が表示されます。

"MD WRITING(ライティング)" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING(ライティング)" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

- ワンタッチエディット録音中は、**"O.T.E."** インジケーターが点灯します。
- 再生側や録音側のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

CD の状態によっては、音飛びが起こったり、MD にノイズが録音されたり、不要なトラックができたりすることがあります。この場合は、通常の速度で録音しなおしてください。

- 4 倍速録音をはじめてから 74 分以内に同じ CD またはトラックを 4 倍速録音することはできません。

同じCDの4倍速録音ができるまでの時間

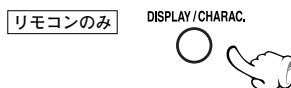
- 74分以内に同じCDまたはトラックを録音する場合は録音スピードを "**REC SPEED(スピード) NORMAL(ノーマル)**" に設定し（→45）、"**ワンタッチエディット録音**"を行います。→47
- 74分以内に200曲以上を続けて4倍速録音することはできません。

録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。

録音中の表示について

録音中は、MD の録音残量時間が表示されます。DISPLAY(ディスプレイ)/CHARAC(キャラクター). キーを押して、録音中の CD の時間表示と MD の時間表示に切り換えることができます。

リモコンのみ　DISPLAY/CHARAC.

MD の時間表示にしたときは、TIME(タイム) DISP(ディスプレイ). キーを押して録音可能残り時間、録音中の曲の経過時間に表示を変えることができます。
CD の時間表示にしたときは、TIME(タイム) DISP(ディスプレイ). キーを押して、CDの時間表示を切り換えることができます。→24

CD のワンタッチエディット録音

CD の全曲を、ワンタッチで録音できます。(全曲録音)
CD を聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。(一曲録音)

MD レコーダーは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ 入力を "CD" にする

❷ "RANDOM" 表示の消灯を確かめる

❸ MD レコーダーに録音可能な MD を入れる

❹ CD プレーヤーに CD を入れる

❺ "HIGH" インジケーターの消灯を確かめる

- "RANDOM" 表示が点灯しているときは、STOP キーを押してランダム再生モードを解除します。
- グループ録音しないときは、グループ録音の設定をオフにしておきます(全曲録音のときのみ)。 ➞38
- "HIGH" インジケーターが点灯しているときは、「CD のワンタッチエディット 4 倍速録音」の ❸ の操作で "REC SPEED NORMAL" を選びます。➞45
- 録音中の音を大音量で聴くと、録音したMDを再生したときに音飛びが発生することがあります。録音中は音量を少し下げてください。

2 録音モードを選ぶ

❶ mode キーを押して設定モードにし、⏮ または ⏭ キーを押して、"REC MODE" を選び enter/demo キーを押す

- 録音モードの設定を変更しないときは、❸ に進みます。

DIGITAL　EX.BASS
REC MODE
STEREO

❷ ⏮ または ⏭ キーを押してお好みの録音モードを選び enter/demo キーを押す

⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① **"STEREO"**：ステレオ録音モード
② **"LP2"**　：ステレオ 2 倍長時間録音モード
③ **"LP4"**　：ステレオ 4 倍長時間録音モード
④ **"MONO"**：モノラル長時間録音モード

- **"LP2"** または **"LP4"** を選んだときは、❸ に進みます。
"STEREO" または "MONO" を選んだときは、❸ に進みます。

❸ ⏮ または ⏭ キーを押して "LP : STAMP ON" または "LP : STAMP OFF" を選び enter/demo キーを押す

⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① **"LP : STAMP ON"** ：曲タイトルの頭の部分に "**LP :**" の文字が入る 〔LPスタンプ (STAMP) 機能 ➞37〕
② **"LP : STAMP OFF"**：曲タイトルの頭の部分に "**LP :**" の文字が入らない

次のページに続く

3 CDの再生状態を確認する

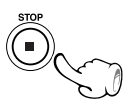
全曲録音	1曲録音
再生中のときは停止させる	録音したい曲を再生する ● 曲の途中で手順 4 を行っても、再生中の曲の最初に戻り、録音がはじまります。 （他の曲を録音するときは、手順 3 と 4 を繰り返します）

4 録音を始める

O.T.E キーを押す

- ワンタッチエディット録音中は、**"O.T.E."** インジケーターが点灯します。
- 再生側や録音側のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

録音が終了すると.....

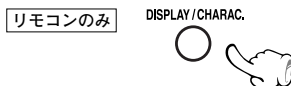
MD レコーダー　：停止し、"MD WRITING" が表示されます。

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。

録音中の表示について

録音中は、MD の録音残量時間が表示されます。DISPLAY/CHARAC. キーを押して、録音中の CD の時間表示と MD の時間表示に切り換えることができます。

リモコンのみ　DISPLAY / CHARAC.

MD の時間表示にしたときは、TIME DISP. キーを押して録音可能残り時間、録音中の曲の経過時間に表示を変えることができます。
CD の時間表示にしたときは、TIME DISP. キーを押して、CDの時間表示を切り換えることができます。→24

CD のプログラム録音

CD の好きな曲を好きな順番でプログラムして MD に録音することができます。

- アナログ録音では 4 倍速録音はできません。

MD レコーダーは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ 入力を "CD" にする
❷ "RANDOM" 表示の消灯を確かめる
❸ MD レコーダーに録音可能な MD を入れる
❹ CD プレーヤーに CD を入れる

- "RANDOM" 表示が点灯しているときは、STOP キーを押してランダム再生モードを解除します。
- 通常速度で録音する時に録音中の音を大音量で聴くと、録音したMDを再生したときに音飛びが発生することがあります。録音中は音量を少し下げてください。

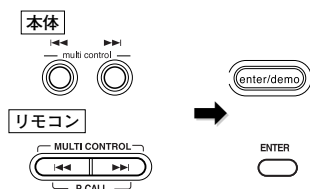
2 CD の曲順をプログラムする

CD の " 曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)" の手順 1 〜 2 を行う →39

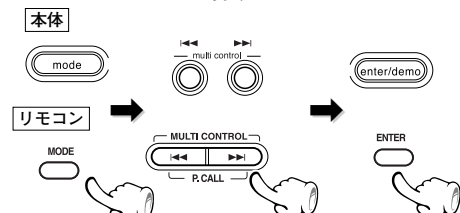
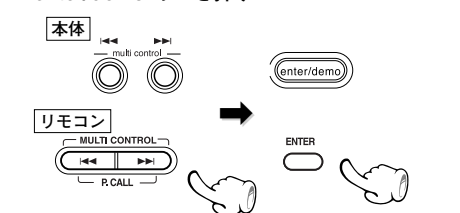
- 同じ曲が複数回プログラムされている場合、4倍速録音をすると "SAME TNO." が表示され録音できません。

3 録音モードを選ぶ

❶ mode キーを押して設定モードにし、|◀◀ または ▶▶| キーを押して、"REC MODE" を選び enter/demo キーを押す

- 録音モードの設定を変更しないときは、4 に進みます。

❷ |◀◀ または ▶▶| キーを押してお好みの録音モードを選び enter/demo キーを押す

|◀◀ または ▶▶| キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① **"STEREO"**：ステレオ録音モード
② **"LP2"**：ステレオ 2 倍長時間録音モード
③ **"LP4"**：ステレオ 4 倍長時間録音モード
④ **"MONO"**：モノラル長時間録音モード

- **"LP2"** または **"LP4"** を選んだときは、❸ に進みます。**"STEREO" または "MONO" を選んだときは、4 に進みます。**

❸ |◀◀ または ▶▶| キーを押して "LP : STAMP ON" または "LP : STAMP OFF" を選び enter/demo キーを押す

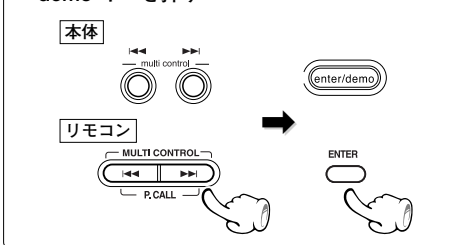
|◀◀ または ▶▶| キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① **"LP : STAMP ON"**：曲タイトルの頭の部分に "**LP :**" の文字が入る 〔LPスタンプ (STAMP) 機能 →37〕
② **"LP : STAMP OFF"**：曲タイトルの頭の部分に "**LP :**" の文字が入らない

次のページに続く

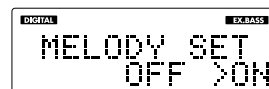
4 録音スピードを選ぶ

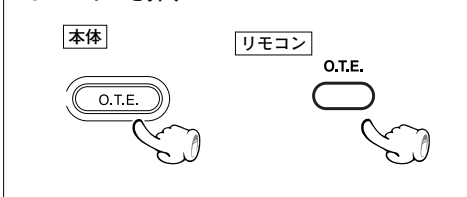
❶ mode キーを押して設定モードにし、⏮ または ⏭ キーを押して、"REC SPEED" を選び enter/demo キーを押す

● 録音スピードの設定を変更しないときは、6 に進みます。

❷ ⏮ または ⏭ キーを押して "REC SPEED HIGH" または "REC SPEED NORMAL" を選び enter/demo キーを押す

押すたびに切り換わります。

① **"REC SPEED NORMAL"：** 通常速度で録音するときに選びます
② **"REC SPEED HIGH"：** 4倍速録音するときに選びます

● "**REC SPEED HIGH**" を選ぶと、本体の "**HIGH**" インジケータが点灯します。
● "**REC SPEED NORMAL**" を選んだときは、5 の操作はありません。6 に進みます。

5 メロディを設定する

⏮ または ⏭ キーを押して "MELODY SET ON" または "MELODY SET OFF" を選び enter/demo キーを押す

押すたびに切り換わります。

① **"MELODY SET ON"：** 録音終了を知らせるメロディーが鳴ります。
② **"MELODY SETOFF"：** 録音終了を知らせるメロディーは鳴りません。

● 4倍速録音中、音を聞くことはできません。

6 録音を始める

O.T.E キーを押す

● プログラムの1曲目から録音がはじまり、全プログラムを録音します。
● ワンタッチエディット録音中は、**"O.T.E."** インジケーターが点灯します。
● CD プログラム再生が終わると自動的に録音が停止します。

4倍速録音した場合、CDの状態によっては、音飛びが起こったり、MDにノイズが録音されたり、不要なトラックができたりすることがあります。この場合は、通常の速度で録音しなおしてください。

録音が終了すると.....

MDレコーダー　：停止し、"MD WRITING" が表示されます。

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

- 4倍速録音をはじめてから74分以内に同じCDまたはトラックを4倍速録音することはできません。

DIGITAL　EX.BASS
PLEASE WAIT
74min.

同じCDの4倍速録音ができるまでの時間

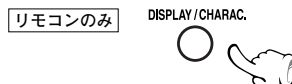
- 74分以内に同じCDまたはトラックを録音する場合は録音スピードを "**REC SPEED NORMAL**" に設定し（→50）録音します。
- 74分以内に200曲以上を続けて4倍速録音することはできません。

録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。

録音中の表示について

録音中は、MDの録音残量時間が表示されます。DISPLAY/CHARAC. キーを押して、録音中のCDの時間表示とMDの時間表示に切り換えることができます。

リモコンのみ　DISPLAY / CHARAC.

MDの時間表示にしたときは、TIME DISP. キーを押して録音可能残り時間、録音中の曲の経過時間に表示を変えることができます。
CDの時間表示にしたときは、TIME DISP. キーを押して、CDの時間表示を切り換えることができます。→24

MDのグループ機能

ステレオ長時間録音モード（LP2またはLP4）を使って、複数のCDを1枚のMDに録音できるようになりました。しかし、1枚のMDに収録される曲数が多くなると曲の管理も大変になります。

そこで、MDに収録されいる曲をグループに分けて管理します。各グループごとのタイトルをつけたり、選んだグループだけを再生したりと収録曲が多くても簡単に操作することができます。

グループ機能は、MD規格の推奨方法にもとづいています。本機でグループ登録したMDは、他のMDのグループ機能対応機器でも再生・編集ができますが、一部の機種ではグループ名などが正しく表示されなかったり編集できない場合があります。

ワンタッチエディット録音でCDの全曲録音をすると、自動的に1つのグループとして録音されます（お買い上げ時の設定）。

また、グループにしないで録音することもできます。→38

- MDのグループ機能は、MDのディスクタイトルのエリアにグループ情報を記憶させています。グループ機能に対応している機器では、これらのグループ情報は表示されませんが、グループ機能に対応していない機器で再生すると、グループ情報の数字・記号が表示されます。これらの数字・記号を編集で削除するとグループ登録が消去されるので、ご注意ください。
  また、MDに入力できる制限に近い文字数がタイトル入力されている場合、グループの登録や編集ができないことがあります。LPスタンプ機能で自動的に付く"LP："も文字数に含まれます。

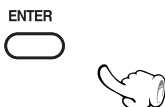
グループ登録する

先頭曲と最終曲を選んで連続している複数の曲をグループ登録することができます。（最大99グループ）
停止中にリモコンを使って操作します。

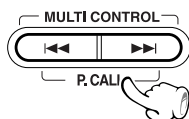
グループ登録を行うときは、停止中にP.MODEキーを押してプログラムモードとグループモードを解除してください。

入力を"MD"にする 。

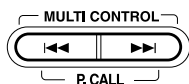
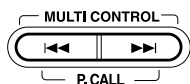
例：3曲目から8曲目までをグループ登録するとき

1 "MD EDIT GROUP" モードにする

❶ MD EDIT キーを押す

❷ |◀◀ または ▶▶| キーを押して、"MD EDIT GROUP" を選ぶ

❸ 確定する

|◀◀ または ▶▶| キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① "MD EDIT TRACK"
② "MD EDIT GROUP"
③ "MD EDIT CANCEL"

2 "GR START"を選ぶ

❶ |◀◀ または ▶▶| キーを押し、"GR START"を選ぶ

MULTI CONTROL
P. CALL

❷ 確定する

ENTER

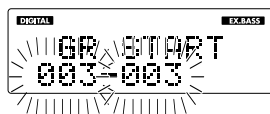
|◀◀ または ▶▶| キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① "GR START"
② "GR CANCEL"
③ "GR EDIT"

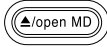
DIGITAL EX.BASS
MD EDIT
GR START

3 グループ登録する曲を選ぶ

❶ |◀◀ または ▶▶| キーを押して、グループの先頭曲を選び、ENTERキーを押す

DIGITAL EX.BASS
GR START
003-003

❷ |◀◀ または ▶▶| キーを押して、グループの最終曲を選び、ENTERキーを押す

- 1曲だけでもグループ登録ができます。

4 グループ操作を実行する

次のページに続く

5 MD を取り出す

MD を取り出すと、MD の編集を確定します。編集を取り消す場合は、MD を取り出す前に、" 編集した内容を取り消す " を参照して操作してください。

→ 75

▲/open MD

情報を書き込み中

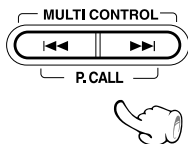
MD 排出

"MD WRITING(ライティング)" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING(ライティング)" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

- 1つの曲を複数のグループに登録することはできません。
- 連続していない曲をグループに登録することはできません。例えば1曲目と3〜12曲目を一つのグループに登録できません。曲を移動して連続する曲番号にしてからグループ登録しなおしてください。
- 連続している曲でも、あいだにグループをはさんで登録することはできません。例えば、すでにグループ A として5〜10曲目が登録されているときに、グループ B として3〜12曲目は指定できません。グループ A をグループ解除してから、もう一度グループ登録しなおしてください。
- グループ登録済みの曲を他のグループに登録しなおすときは、次のいずれかの操作で、その曲をいったんグループ登録されていない状態に戻してください。
  GR(グループ) EDIT(エディット) でグループの範囲を変更する → 55
  GR(グループ) CANCEL(キャンセル) でグループを解除する → 57

グループ範囲を変更する

先頭曲と最終曲を再選択してグループ登録されている曲の範囲を変更します。停止中にリモコンを使って操作します。

グループの範囲を変更するときは、停止中に P.MODE キーを押してプログラムモードとグループモードを解除してください。

入力を"MD"にする 。

1 "MD EDIT GROUP" モードにする

❶ MD EDIT キーを押す

❷ ⏮ または ⏭ キーを押し、"MD EDIT GROUP" を選ぶ

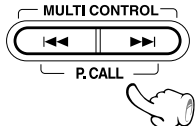
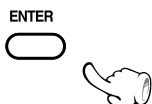
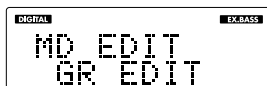
❸ 確定する

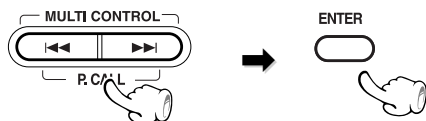
⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

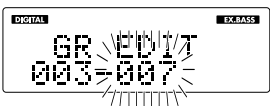
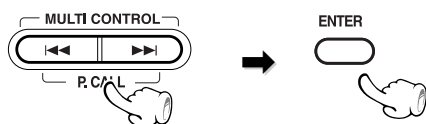
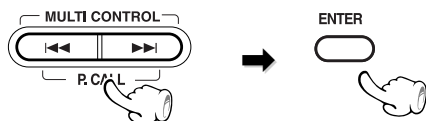
① "MD EDIT TRACK"
② "MD EDIT GROUP"
③ "MD EDIT CANCEL"

2 "GR EDIT" を選ぶ

❶ ⏮ または ⏭ キーを押して、"GR EDIT" を選ぶ

❷ 確定する

⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① "GR START"
② "GR CANCEL"
③ "GR EDIT"

次のページに続く

3 新しくグループ登録する曲の範囲を選ぶ

❶ ⏮ または ⏭ キーを押して、範囲を変更するグループを選び、ENTER キーを押す

GR EDIT
GR01:003-008

❷ ⏮ または ⏭ キーを押して、グループの先頭曲を選び、ENTER キーを押す

❸ ⏮ または ⏭ キーを押して、グループの最終曲を選び、ENTER キーを押す

GR EDIT
003-007

4 変更を実行する

5 MD を取り出す

MD を取り出すと、MD の編集を確定します。編集を取り消す場合は、MD を取り出す前に、" 編集した内容を取り消す " を参照して操作してください。

→ 75

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

グループを解除する

登録したグループを解除ことができます。停止中にリモコンを使って操作します。

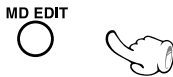
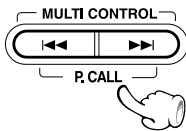
> グループを解除するときは、停止中に P.MODE キーを押してプログラムモードとグループモードを解除してください。

入力を"MD"にする 。

1 "MD EDIT GROUP" モードにする

⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

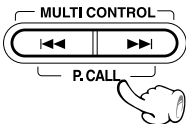
① "MD EDIT TRACK"
② "MD EDIT GROUP"
③ "MD EDIT CANCEL"

DIGITAL EX.BASS
MD EDIT
GROUP

2 "GR CANCEL" を選ぶ

❶ ⏮ または ⏭ キーを押して、"GR CANCEL" を選ぶ

MULTI CONTROL
P. CALL

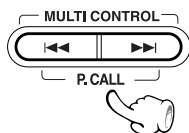
❷ 確定する

ENTER

⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① "GR START"
② "GR CANCEL"
③ "GR EDIT"

次のページに続く

3 "GR ALL" または解除するグループを選ぶ

❶ ⏮ または ⏭ キーを押して、解除するグループを、全てのグループを解除する場合は "GR ALL " を選ぶ

GR CANCEL
GR01:003-008

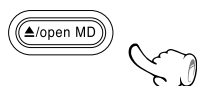
または

GR CANCEL
GR ALL

❷ 確定する

4 グループ解除を実行する

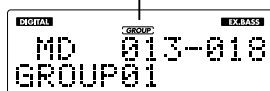
5 MD を取り出す

MD を取り出すと、MD の編集を確定します。編集を取り消す場合は、MD を取り出す前に、" 編集した内容を取り消す " を参照して操作してください。
→ 75

情報を書き込み中　　MD 排出

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

聴きたいグループを選ぶ (グループサーチ機能)

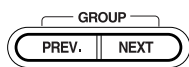
聴きたいグループの先頭の曲に簡単に飛び越し、選んだグループの曲だけ再生します。停止中にリモコンを使って操作します。

入力をMDにして、グループ登録されているMDを入れる。

1 GROUP モードにする

P.MODE キーを繰り返し押して、表示部に"GROUP"を表示させる

P.MODE

"GROUP"点灯

MD 013-018
GROUP01

- グループタイトルがないときはグループ番号（例："GROUP01"）が表示され、グループタイトルがあるときはグループタイトルが表示されます。

2 聴きたいグループを選ぶ

- GROUP NEXT キーは、次のグループを選ぶときに押します。再生中は、選んだグループの先頭の曲から再生が始まります。
- GROUP PREV. キーは、前のグループを選ぶときに押します。再生中は、選んだグループの先頭の曲から再生が始まります。

3 再生する

- グループ再生を止めるには、STOP ■ キーを押します。
- グループサーチ機能を解除するには、停止中に P.MODE キーを 2 回押して "GROUP" 表示を消灯させます。

グループ再生中の時間表示について

TIME DISP. キーを押すたびに表示部の時間表示が切り換わります。

リモコンのみ

TIME DISP.

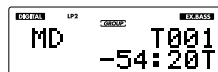
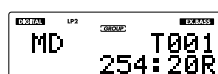
① 曲の経過時間 — MD T001 0:00

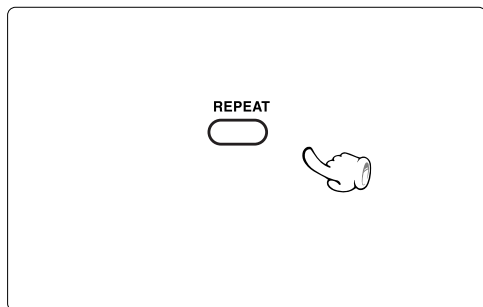
② 曲の残り時間 — MD T001 -4:20

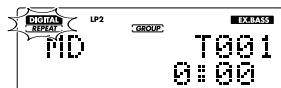
③ グループの経過時間 — MD T001 0:00T

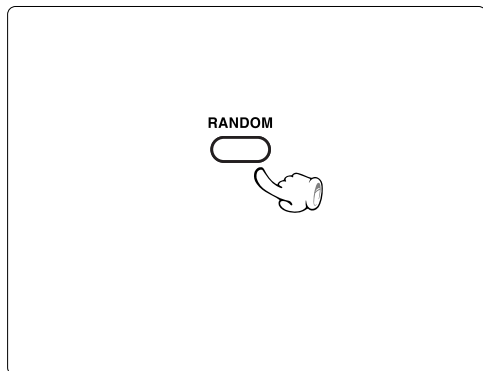
④ グループの残り時間 — MD T001 -54:20T

⑤ MD の録音残量時間 — MD T001 254:20R

- 一曲リピート再生時や、ランダム再生時には、① と ② のみ表示します。

選んだグループの曲を繰り返し聴く(グループリピート再生)

選んだグループ内の全曲または 1 曲を繰り返し再生します。

押すたびに切り換わります。

① **"REPEAT 1"：**1 曲だけを繰り返します
② **"REPEAT"：**グループ内の全曲を繰り返します
③ **消灯：**リピート再生をやめる

選んだグループの曲を順不同で聴く(グループランダム再生)

グループ内の曲を順不同で再生します。

RANDOM キーを押して、"RANDOM" を点灯させる。

RANDOM 点灯

ランダム再生を解除するには

STOP ■ キーを押して、**RANDOM** を消灯させます。

- グループ内の全曲の再生が 1 回終わると停止します。
- **REPEAT** キーを押すと、ランダム再生が繰り返されます。

MD の編集機能

録音した MD は、録音後に各種の編集を行うことができます。

- 再生専用の一般市販ソフトの MD は編集できません。
- 編集をするときは、MD の誤消去防止つまみを録音可能側にしてください。→85
- リモコンを使って操作します。

MD 規格上の機能制限について

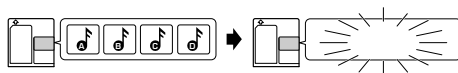
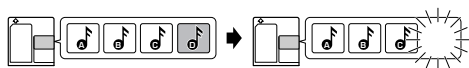
MD のいくつかの機能には、規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、"MD 規格上の症状" をご確認ください。→87

曲順の入れ替え

曲を移動する（MOVE） →62

曲の消去（ERASE）→64

1 曲を消す

全曲消す

曲の結合と分割

曲をつなぐ（COMBINE） →66

曲を分ける（DIVIDE） →68

MD や曲にタイトルをつける →71**、グループや曲にタイトルをつける** →72

英数字に加えてカタカナなどの入力も可能です。表示部に表示される文字の中から順に選ぶだけのカンタンな操作でタイトルを入力できます。入力したタイトルは、機種間の互換性があるので、他の MD レコーダー（プレーヤー）にその MD をセットしたときも表示されます。
（タイトルの互換性には、表示可能な文字種や文字数など、一部の規制があります）

編集した内容を取り消す →75

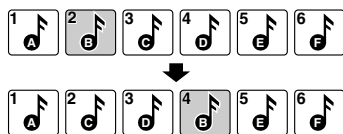
"MD WRITING" が表示される前であれば、編集した内容や入力したタイトルを取り消すことができます。

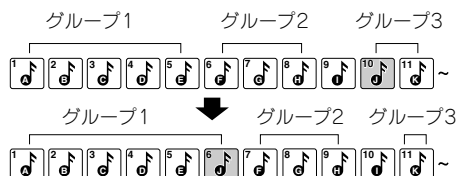
曲を移動する（MOVE）

再生中の曲を目的のトラック番号の位置へ移動（挿入）します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。停止中に曲を移動することもできます。
MOVE を繰り返し行うと、全曲をお好みの曲順に並べ替えることができます。

MD の編集を行うときは、停止中に P. MODE キーを押してプログラムモードとグループモードを解除してください。

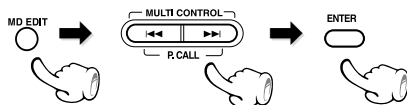
曲を1曲移動するイメージ

グループ分けされてない曲を移動するとき

グループ分けされている曲を移動するとき

グループ3に登録されている10曲目のJ曲を 5 曲目と 6 曲目の間に移動すると、J曲はグループ1に登録されます。

入力を "MD" にする

1 移動する曲を再生する

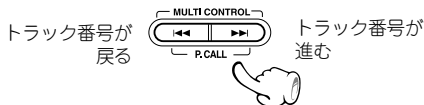
2 "MOVE " を選ぶ

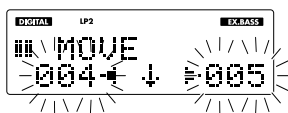
リモコンのMD EDIT キーを押してから、⏮または ⏭ キーを押して "MOVE" を選び、ENTER キーを押す

- 再生中の曲は一時停止になります。
- 途中でやめるには、手順 4 の前に MD EDIT キーを押します。

⏮または⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① "DIVIDE "
② "COMBINE"
③ "ERASE "
④ "MOVE"

3 移動先を選ぶ

❶ ⏮または ⏭ キーを押して曲（トラック番号）を選ぶ

❷ 確定する

トラック No.4 と No.5 の間に移動する例

移動先のトラック番号

4 曲の移動を実行する

実行後の表示

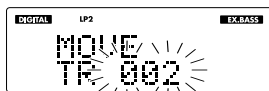
"EDIT NOW" → "COMPLETE"（編集完了）
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"（編集不可能）

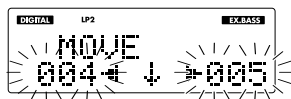
5 MD を取り出す

MD を取り出すと、MD の編集を確定します。編集を取り消す場合は、MD を取り出す前に、" 編集した内容を取り消す " を参照して操作してください。

→ 75

情報を書き込み中

MD 排出

- MD を取り出すと、MD の編集を確定します。

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

停止中に曲を移動する

❶ MD EDIT キーを押す

❷ ⏮ または ⏭ キーを押して "MD EDIT TRACK" を選ぶ

⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① "MD EDIT TRACK"
② "MD EDIT GROUP"
③ "MD EDIT CANCEL"

❸ ENTER キーを押す

❹ ⏮ または ⏭ キーを押して "MOVE" を選ぶ

⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① "MOVE"
② "ERASE"

❺ ENTER キーを押す

❻ ⏮ または ⏭ キーを押して移動する曲（トラック番号）を選ぶ

❼ ENTER キーを押す

❽ ⏮ または ⏭ キーを押して移動先を選ぶ

❾ ENTER キーを押す

❿ ENTER キーを押し、曲を移動する

⓫ MD を取り出す

1 曲または MD の全曲を消す（ERASE）

消した曲の後ろの曲番号は自動的に調節されます。MD の全曲を消すと MD はブランクディスクになります。
一度消した曲は元に戻りません。本操作を行うときはご注意ください。

MD の編集を行うときは、停止中に P. MODE キーを押してプログラムモードとグループモードを解除してください。

消したい曲を再生して、確認しながら消す

入力を "MD" にする。

1 消したい曲を再生する

2 "ERASE " を選ぶ

リモコンの MD EDIT キーを押してから、⏮ または ⏭ キーを押して "ERASE" を選び、ENTER キーを押す

- 曲は一時停止になります。
- 途中でやめるには、手順 3 の前に MD EDIT キーを押します。

⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① "DIVIDE "
② "COMBINE"
③ "ERASE "
④ "MOVE"

3 消去を実行する

ENTER

実行後の表示
"EDIT NOW" → "COMPLETE"（編集完了）
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"（編集不可能）

- Net MD対応機器でパソコンからチェックアウトした曲を消すときは、"PROTECTED ok?"と表示されます。よければもう一度 ENTER キーを押します。

4 MD を取り出す

MD を取り出すと、MD の編集を確定します。編集を取り消す場合は、MD を取り出す前に、" 編集した内容を取り消す " を参照して操作してください。

→ 75

情報を書き込み中　　MD 排出

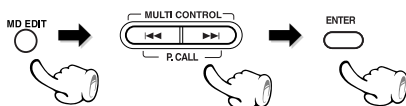
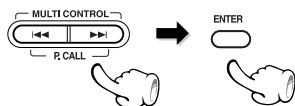
- MD を取り出すと、MD の編集を確定します。

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

MD の全曲またはトラック番号を選んで 1 曲消す

入力を "MD" にする。停止中に操作してください。

1 *"ERASE " を選ぶ*

❶ リモコンのMD EDIT キーを押してから、⏮ または ⏭ キーを押して "MD EDIT TRACK" を選び、ENTER キーを押す

❷ ⏮ または ⏭ キーを押して "ERASE" を選び、ENTER キーを押す

● 途中でやめるには、手順 3 の前に MD EDIT キーを押します。

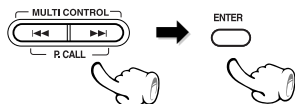
⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① "MD EDIT TRACK"
② "MD EDIT GROUP"
③ "MD EDIT CANCEL"

⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① "MOVE"
② "ERASE"

2 *消したい曲を選ぶ*

⏮ または ⏭ キーを押して "ERASE TR ALL" または消したい曲を選び、ENTER キーを押す

⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① "ERASE TR ALL"：全曲が消えます
② "TR001"、"TR002"……

3 *消去を実行する*

実行後の表示

"EDIT NOW" → "COMPLETE"（編集完了）
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"（編集不可能）

● 他の Net MD 対応機器でパソコンからチェックアウトした曲を消すときは、**"PROTECTED ok?"** と表示されます。よければもう一度 **ENTER** キーを押します。

4 *MD を取り出す*

MD を取り出すと、MD の編集を確定します。編集を取り消す場合は、MD を取り出す前に、" 編集した内容を取り消す " を参照して操作してください。

→ 75

情報を書き込み中　　MD 排出

● MD を取り出すと、MD の編集を確定します。

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

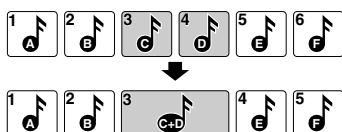
曲をつなぐ（COMBINE）

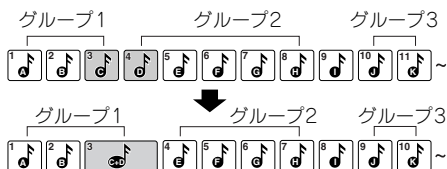
2 つの曲をつないで 1 曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。つないだ曲より後ろの曲は、トラック番号が自動的に調節されます。

MD の編集を行うときは、停止中に P. MODE キーを押してプログラムモードとグループモードを解除してください。

異なる録音モードの二つの曲はつなぐことができません。（例：“LP4”＋“LP2”等）
他の Net MD 対応機器でパソコンからチェックアウトされた曲と通常に録音した曲は、つなぐことができません。

曲をつなぐイメージ

グループ分けされてない曲をつなぐとき

グループ分けされている曲をつなぐとき

グループ1に登録されている3曲目のC曲とグループ2に登録されている4曲目のD曲をつなぐと、D曲はグループ1に登録されます。

入力を "MD" にする

1 前になる曲を再生する

- 手順 1 で選んだ曲の後ろに、手順 3 で選んだ曲をつなげることができます。

2 "COMBINE" を選ぶ

リモコンのMD EDIT キーを押してから、⏮ または ⏭ キーを押して "COMBINE" を選び、ENTER キーを押す

- 曲は一時停止になります。
- 途中でやめるには、手順 4 の前に MD EDIT キーを押します。

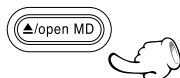
⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① "DIVIDE"
② "COMBINE"
③ "ERASE"
④ "MOVE"

3 後ろになる曲を選ぶ

⏮ または ⏭ キーを押して曲（トラック番号）を選び、ENTER キーを押す

DIGITAL LP2 EX.BASS
COMBINE
003+004

前になる曲のトラック番号とタイトルが残ります。
（後ろになる曲のトラック番号とタイトルは消えます）

4 曲と曲の結合を実行する

5 MD を取り出す

MD を取り出すと、MD の編集を確定します。編集を取り消す場合は、MD を取り出す前に、" 編集した内容を取り消す " を参照して操作してください。

→ 75

実行後の表示

"EDIT NOW" → "COMPLETE"（編集完了）
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"（編集不可能）

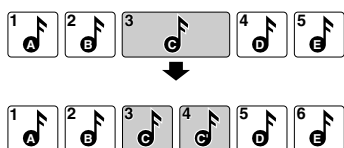
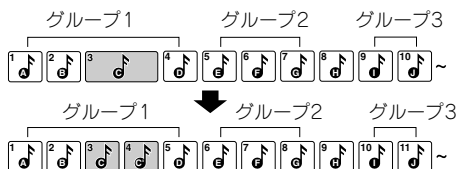
- Net MD対応機器でパソコンからチェックアウトした曲をつなぐときは、**"PROTECTED ok?"** と表示されます。よければもう一度 **ENTER** キーを押します。

情報を書き込み中　　MD 排出

- MD を取り出すと、MD の編集を確定します。

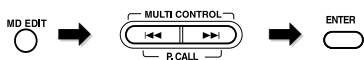
"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

曲を分ける（DIVIDE（デバイド））

曲の途中に曲番号（トラック番号）を追加して曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておくと、再生のとき聴きたいところにスキップができるので便利です。
分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に調整されます。
分割したいところを繰り返し聴きながら微調整することができます。

MD の編集を行うときは、停止中に P. MODE（モード） キーを押してプログラムモードとグループモードを解除してください。

曲をわけるイメージ

グループ分けされてない曲をわけるとき

グループ分けされている曲を分けるとき

入力切換を "MD" にする

1 分けたい曲を再生する

2 分けたいところで "DIVIDE（デバイド）" を選ぶ

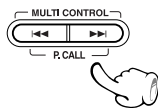
曲を分けたいところでリモコンの MD EDIT（エディット） キーを押してから、⏮ または ⏭ キーを押して "DIVIDE（デバイド）" を選び、ENTER（エンター） キーを押す

- 曲は一時停止になります。
- 途中でやめるには、手順 5 の前に MD EDIT（エディット） キーを押します。

⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① "DIVIDE（デバイド）"
② "COMBINE（コンバイン）"
③ "ERASE（イレース）"
④ "MOVE（ムーブ）"

- 曲を分けるときは、曲のはじめから約2秒以上後ろに分割ポイントを設定してください。約2秒より短い曲に分割できないことがあります。

3 分割ポイントを決める

ENTER（エンター） キーを押す

- ENTER（エンター）キーを押したところが分割ポイントになり、2秒間の再生が繰り返されます。

4 分割ポイントを微調整する

❶ |◀◀ または ▶▶| キーを押して分割ポイントを微調整する

❷ ENTER（エンター）キーを押す

- 分割ポイントは、－31～0～＋31（約4秒）の範囲で微調整できます。
- 分割ポイントから約2秒の再生が繰り返されます。
- 分割ポイントを微調整しないときは、ENTER（エンター）キーのみを押します。

5 曲の分割を実行する

実行後の表示

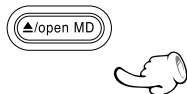
"EDIT NOW"（エディット ナウ） → "COMPLETE"（コンプリート）（編集完了）

"EDIT NOW"（エディット ナウ） → "CAN' T EDIT"（キャント エディット）（編集不可能）

- Net MD対応機器でパソコンからチェックアウトした曲を分けるときは、"PROTECTED ok?"（プロテクテッド）と表示されます。よければもう一度 ENTER（エンター）キーを押します。
- 分割してできた曲と曲の間には、無音部分はありません。
- MD 規格の制限で、曲を分けられない場合があります。

手順 4 ～ 5 を繰り返して、最大254までトラックを分割できます。

6 MD を取り出す

MD を取り出すと、MD の編集を確定します。編集を取り消す場合は、MD を取り出す前に、" 編集した内容を取り消す " を参照して操作してください。

→ 75

- MD を取り出すと、MD の編集を確定します。

"MD WRITING"（ライティング）表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING"（ライティング）が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

グループ登録した MD の曲を編集すると

グループに登録されている曲を編集すると、次のようになります：

曲を移動する

曲を移動したとき、移動先の１つ前の曲がグループに登録されている場合は、その曲と同じグループになります。移動先の１つ前の曲がどのグループにも登録されていないときや、最初の曲の前に移動したときは、移動した曲はどのグループにも登録されません。

例：グループ A として３〜５曲目が登録されていて、グループ B として９〜 12 曲目が登録されているとき、グループ A の４曲目を 11 曲目に移動するとグループ B の曲になります。また、グループ A の４曲目を７曲目に移動するとグループに所属しない曲になります。

曲をつなげる

グループに登録されている曲をつなげると、つなげるときに前にある曲のグループに所属します。

例：グループ A として３〜５曲目が登録されていて、グループ B として６〜 12 曲目が登録されているとき、グループ A の５曲目とグループ B の６曲目をつなげると、つなげられた曲はグループ A に登録されます。また、グループ A の３曲目を２曲目とつなげると、つなげられた曲はグループに属さない曲になります。

曲を分ける

グループに登録されている曲を分けると、分けた曲も分ける前のグループに登録されます。

例：グループ A として３〜５曲目が登録されているとき、５曲目を分けると分けてできた６曲目もグループ A に登録されます。

曲を消す

グループに登録されている曲を消した場合、グループ内の全曲を消すと、そのグループも消去されます。

例：グループ A として３〜５曲目が登録されていて、グループ B として６〜 12 曲目が登録されているとき、グループ A の３〜５曲目を消すとグループ A が消去され、このときグループ B につけられたタイトルは変わりませんがタイトルが登録されていない場合、表示されるグループ番号は自動的に調整されます。

- グループ機能の情報は、ディスクのタイトル情報として記録されています。グループ機能に対応していない機器で、グループ登録されているMDのディスクタイトルを表示させると、通常のディスクタイトル以外の情報も表示されますが故障ではありません。
- グループ機能に対応していない機器で、グループ登録されているMDの編集操作はしないでください。

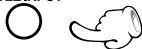
MD や曲にタイトルをつける

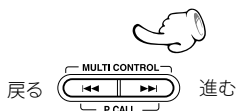
MD や曲にタイトルをつけると、再生中にタイトルが表示されます。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消すことができます。リモコンを使って操作します。

MD の編集を行うときは、停止中に P.MODE キーを押してプログラムモードとグループモードを解除してください。

入力を "MD" にする。

1 タイトル入力状態にする

停止中に操作する

❶ TITLE INPUTキーを押す

❷ 編集するタイトルを選ぶ

❸ 編集したいタイトルを確定する

中止するときは、もう一度TITLE INPUTキーを押します。

MDの録音モード（"LP2" または "LP4"）の設定で、LP スタンプ機能を使用している場合、曲のタイトルの頭の部分に「LP：」が表示されます。 →37

入力できる文字数について

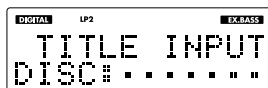
MD全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。（英、数、記号の場合）

カタカナを使用したときや曲数が多いときは、入力できる文字数が少なくなります。

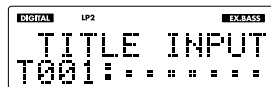
スペース（1文字ぶんの空白）も、文字と同じ量のデータを必要とします。

タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除（CLEAR キー）をご利用ください。 →73 →74

曲にタイトルをつけるときは、手順 1 - ❸ の前にMD ▶/II キーを押すと、その曲を聴きながらタイトルを入力することができます。

|◀◀ または ▶▶| キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① **"DISC"** : ディスクタイトル ***1**
② **"T001", "T002".....** : トラックタイトル ***2**

*1 停止中に手順 1 - ❶ を行うと、ディスクタイトルから表示がはじまります。

*2 |◀◀または▶▶| キーを押すたびに、"**001**"、"**002**" ･･･とトラックタイトルが順番に表示され、全トラックの表示が終わると① に戻ります。

ディスクタイトルのとき ：

"**DISC**" を選びます。

トラックタイトルのとき ：

目的のトラック No. を選びます。
（数字キーでも選べます。）

- タイトルをつけていないときは、" ･･････ " と表示されます。

73ページの 2 へ進む

グループや曲にタイトルをつける

グループや曲にタイトルをつけると再生中にタイトルが表示されます。リモコンを使って操作します。

入力を"MD"にして、グループ登録されているMDを入れる。

1 タイトルをつけるグループを選び、タイトル入力状態にする

停止中に操作する

❶ GROUP（グループ）モードにする

- P. MODE（モード）キーを繰り返し押し、"GROUP（グループ）"表示を点灯させます。

❷ グループを選ぶ

❸ TITLE（タイトル） INPUT（インプット）キーを押す

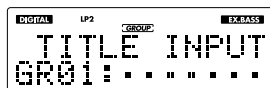
- MD を読みとるまでに多少時間がかかります。

❹ 編集したいタイトル（グループタイトルまたは、トラックタイトル）を選ぶ

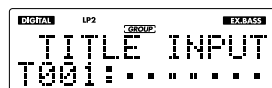
⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① **"GR ＊＊ " :** グループタイトル
② **"T001"、"T002"..... :** トラックタイトル

- ① の " ＊＊ " は、選んだグループ番号を表します。

グループタイトルのとき ：
"GR ＊＊ " を選びます。

トラックタイトルのとき ：
目的のトラック No. を選びます。

- タイトルをつけていないときは、" ・・・・・・ " と表示されます。

❺ 確定する

中止するときは、もう一度TITLE（タイトル） INPUT（インプット）キーを押します。

入力できる文字数について

MD全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。（英、数、記号の場合）
カタカナを使用したときや曲数が多いときは、入力できる文字数が少なくなります。
スペース（1文字ぶんの空白）も、文字と同じ量のデータを必要とします。
タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除（CLEAR（クリアー）キー）をご利用ください。→73 →74

73ページの 2 へ進む

2 タイトルを入力する

❶ DISPLAY／CHARAC. キーを繰り返し押して、文字グループを選ぶ

❷ 文字入力キーを押して、文字を選ぶ

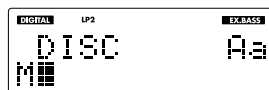
同じキーを繰り返し押すと文字がかわります。

（例：カ/ABC 2 を押したとき A→B→C→a→b→c と変わります。）

❸ 文字を確定する

（手順 ❶ ～ ❸ を繰り返して、文字を入力します。）

文字グループは以下の通りです。

"Aa" グループ：
Ａ～ｚ、記号、スペース

"12" グループ：
０～９と記号、スペース

" アァ " グループ：
アイウエオ・・・ガギグゲゴ・・・と記号、スペース

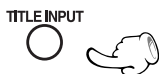
- 間違えたときは、**CLEAR** キーを押します。
- ⏮ または ⏭ キーで、入力場所（カーソル）を左右に移動できます。
- 文字を挿入するときは、⏮または⏭キーで挿入したい場所の直後にカーソルを合わせて文字を選びます。

カーソルが移動、次の文字入力待ち

次のページに続く

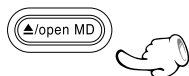
タイトル編集文字一覧表

キー ＼ グループ	"Aa"	"12"	"アァ"
1ア	□（スペース）	1	アイウエオァィゥェォ
2カABC	A B C a b c	2	カキクケコ
3サDEF	D E F d e f	3	サシスセソ
4タGHI	G H I g h i	4	タチツテト
5ナJKL	J K L j k l	5	ナニヌネノ
6ハMNO	M N O m n o	6	ハヒフヘホ
7マPQRS	P Q R S p q r s	7	マミムメモ
8ヤTUV	T U V t u v	8	ヤユヨャュョ
9ラWXYZ	W X Y Z w x y z	9	ラリルレロ
0ワヲン ゛ °	□（スペース）	0	゛ ° ワヲン
+10 ',：	' , : ? ! ; . " _ ` $ □（スペース）		
+100 &( ) –	& ( ) - / + * = < > # % @		

- "゛ ", "° "はカーソル直前の文字によって入力できないことがあります。
- 英字の大文字と小文字が表示される順番は入力する前の状態によって入れ替わります。
- ディスクタイトル、グループタイトルには“/”を連続して入力しないでください。グループ登録が正しく認識できなくなる場合があります。

3 タイトル入力を実行する

❶ ENTER（エンター）キーを押して、タイトル入力を確定する

- タイトルを確定する前に、電源をオフ（スタンバイ）にしたり、TITLE INPUT（タイトル インプット）キーを押して設定を取り消したりすると入力中の内容は消去されます。

❷ TITLE INPUT（タイトル インプット）キーを押して、編集を終了する

- ENTER（エンター）キーを押すと、次に編集するタイトル（ディスク名または曲名）を選ぶことができます。
  MDや曲タイトルを続けて編集するときは、71ページの手順 1-❷から繰り返してください。
  同じグループの曲タイトルを続けて編集するときは、72ページの1-❹から繰り返してください。
  他のグループのタイトルを編集するときは、3-❷の手順を終了し、MDの停止を確認して、72ページの1-❷から操作してください。

4 MD を取り出す

MD を取り出すと、MD の編集を確定します。編集を取り消す場合は、MD を取り出す前に、" 編集した内容を取り消す " を参照して操作してください。

→ 75

情報を書き込み中　　MD 排出

- MD を取り出すと、MD の編集を確定します。

"MD WRITING（ライティング）" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING（ライティング）" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

タイトルを変更、消去する

タイトルを変更、消去するときは、次の方法で文字の消去、挿入をします。
文字の変更は、文字の消去と挿入を組み合わせて行います。

❶ "MDや曲にタイトルをつける"または"グループや曲にタイトルをつける"の手順1を行い、変更または消去したいタイトル（ディスク、グループまたは曲）を選ぶ

❷ ⏮ または ⏭ キーを押して、変更または消去したい文字にカーソルを合わせる

- 文字を挿入したいときは、挿入したい場所の直後に文字のカーソルを合わせます。

❸ CLEAR（クリア）キーを押して、文字を消去する（消去のときは手順❺へ）

❹ 文字を変更するときは、73ページの手順2を行い、文字を挿入する

❺ このページの手順 3 と 4 を行う

編集した内容を取り消す

次の条件のとき、MD を入れてから現在までに行った編集や入力したタイトルを取り消すことができます。
リモコンを使って操作します。

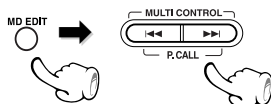
- 編集した MD を取り出す前
- 電源を切る前
- 録音をする前

上記のいずれかの操作をして、"MD WRITING" が表示された MD の編集内容は取り消すことができません。
グループの登録、変更、解除も取り消すことができます。

MD の編集を行うときは、停止中に P.MODE キーを押してプログラムモードとグループモードを解除してください。

入力を "MD" にする。停止中に操作してください。

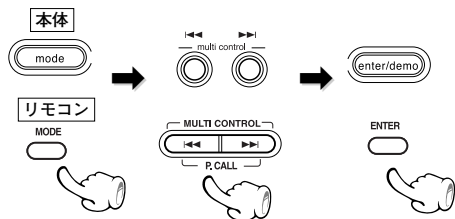
1 "MD EDIT CANCEL " を選ぶ

❶ MD EDIT キーを押してから、⏮ または ⏭ キーを押して "MD EDIT CANCEL" を選ぶ

❷ ENTER キーを押す

⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

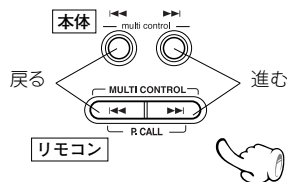
① "MD EDIT TRACK"
② "MD EDIT GROUP"
③ "MD EDIT CANCEL"

- 編集後にMDを取り出した場合などは、"CANCEL X"と表示され操作できません。
- 途中で止めるには、手順❷の前にMD EDITキーを押します。

2 編集の取り消しを実行する

時刻合わせ

時計として使うだけでなく、タイマーを使うためにも必要となるので、あらかじめ時刻合わせを済ませてください。

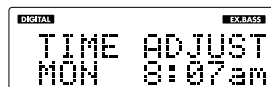
1 時刻合わせモードにする

❶ mode キーを押す

❷ ⏮ または ⏭ キーを押して "TIME ADJUST" を選び、enter/demo キーを押す

DIGITAL EX.BASS
TIME ADJUST
SUN 12:00am

- 曜日が点滅を始めます。

2 曜日、時、分を合わせる

❶ ⏮ または ⏭ キーを押して曜日を合わせ、enter/demo キーを押す

❷ 同様に「時」を合わせてから、「分」を合わせる

月曜日午前 8 時 7 分に合わせる例：

- 「曜日」を合わせてから enter/demo キーを押すと「時」が点滅し、「時」を合わせてから enter/demo キーを押すと「分」が点滅します。
- 時間は 12 時間（am/pm）で表示されます。
  昼の 12 時は "12:00pm"、夜の 12 時は "12:00am" と表示されます。

- 間違えたときは、はじめからやり直してください。
- enter/demo キーを押して、設定が終了すると "COMPLETE" と表示します。
- 本機の時計は、ACアダプタを抜いても約3分間程度保持されます。
- 停電があったり、電源プラグをコンセントに入れ直したときは、もう一度時刻合わせをしてください。
- 電源がスタンバイ状態のとき、STOP キーを押すと8秒間時刻が表示されます。

タイマーを使う

おやすみタイマー（SLEEP）

設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。

ウィークリータイマー再生、タイマー録音（PROG. 1 , PROG. 2）

→78

設定した時間帯に選んだソースを再生したり、ラジオまたは外部入力ソースを録音します。

ウィークリー AI タイマー再生（PROG. 1 , PROG. 2）

→78

タイマー再生開始後、徐々に音量が大きくなり、設定した音量まで上がります。

おやすみタイマー（SLEEP）

何分後に電源をオフ（スタンバイ）するか設定します。

時間を設定する

おやすみタイマーの動作中は表示部の明るさが自動的に暗くなるように設定されています。（オートディマー機能）

- 一回押すごとに 10 分ずつ増えていきます。最大 90 分まで設定できます。

10 → 20 → 30 ..... 70 → 80 → 90 → 解除 → 10 → 20 .....

SLEEP　　30

セットする時間

- **SLEEP キー**を押すと表示部のバックライトが暗くなります。
- 設定した時間が経過すると、自動的に電源がオフになります。

- おやすみタイマーの動作中に、**SLEEP** キーを 1 回押すと、残り時間の確認ができます。

解除するには

電源をオフ（スタンバイ）にする、または SLEEP キーを解除になるまで繰り返し押す。

プログラムタイマーを設定する

PROG. 1 、PROG. 2 には、働く時間帯と内容を予約します。

時刻合わせを済ませてから、タイマーを設定してください。 →76
" 他の機器（市販品）との接続 " を参照して、関連機器との接続を済ませてください。 →11

1 聴く（録音する）ための準備をする

CD を聴く	MD を聴く
CD を入れる （通常再生だけできます。）	MD を入れる。 （通常再生だけできます。）
ラジオを聴く	**外部入力ソースを聴く**
放送局をプリセットしておく。→29 →32	AUX 端子に接続した機器のタイマー設定をする。

録音する
録音の準備をする。 MD →34

- タイマー予約は、PROG. 1 と PROG. 2 の２系統を、同時に予約できます。
- PROG. 1 と PROG. 2 の働く時間帯が重ならないように、１分以上の間隔をあけて予約してください。

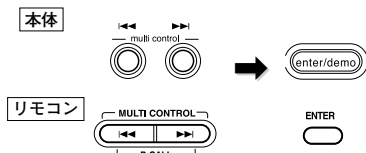
2 プログラムタイマーの番号を設定する

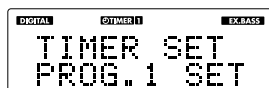
❶ mode キーを押して設定モードにし、⏮ または ⏭ キーを押して "TIMER SET" を選び、enter/demo キーを押す

❷ "PROG.1 SET" または "PROG.2 SET" を選び、enter/demo キーを押す

⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

- "REC MODE"
- "REC SPEED"
- "REC OPTIONS"
- " ケンメイ セッテイ "
  （入力がチューナーのときのみ）
- "AUX INPUT"
  （入力が外部入力のときのみ）
- "BALANCE"
- "A.P.S. SET"
- "DISPLAY SET"
- "TIME ADJUST"
- "TIMER SET"

⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① "PROG.1 SET"（TIMER 1 点灯）
② "PROG.2 SET"（TIMER 2 点灯）

DIGITAL TIMER 1 EX.BASS
TIMER SET
PROG.1 SET

- すでに設定が済んでいるタイマーを選んだ場合は、設定内容が上書きされます。

3 プログラムタイマーのON/OFFを選ぶ

"ON" または "OFF" を選び、enter/demo キーを押す

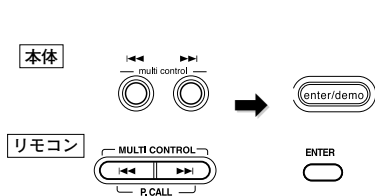
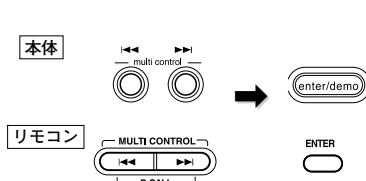
本体
multi control
enter/demo
リモコン
MULTI CONTROL
P. CALL
ENTER

- "ON"　：タイマーは働く
- "OFF"　：タイマーは働かない

- **"OFF"** を選ぶと元の状態に戻ります。
- すでにプログラムタイマーがセットされているとき、**"OFF"**を選ぶと、プログラムタイマーが解除されます。

前回設定したタイマーを再び働かせるには
以降の各設定では、前回設定した内容が始めに表示されます。設定内容を変更しない場合は、**enter/demo** キーのみを押します。

4 タイマーを動作させる曜日を選ぶ

曜日を選び、enter/demo キーを押す

⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

- **"EVERYDAY"（毎日）** 解除するまで動作が続くタイマー
- **"MONDAY"（月曜日）**
- **"TUESDAY"（火曜日）**
- **"WEDNESDAY"（水曜日）**
- **"THURSDAY"（木曜日）**
- **"FRIDAY"（金曜日）**
- **"SATURDAY"（土曜日）**
- **"SUNDAY"（日曜日）**

  （"MONDAY"～"SUNDAY"）**1回の動作または毎週動作を選べるタイマー　手順 5 へ進みます。**

- **"MON-FRI"（月曜日～金曜日）**
- **"TUE-SAT"（火曜日～土曜日）**
- **"SAT-SUN"（土曜日～日曜日）**

  （"MON-FRI"～"SAT-SUN"）**解除するまで動作が続くタイマー**

- **解除するまで動作が続くタイマー**を選んだときは、手順 6 へ進みます。

5 ONETIME または EVERY WEEK を選ぶ

"ONETIME" または "EVERY WEEK" を選び、enter/demo キーを押す

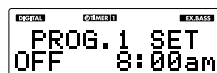
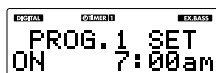
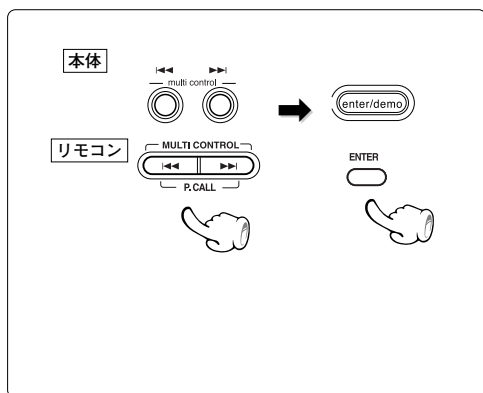
⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① **"EVERY WEEK"：** 毎週タイマーが実行されます。
② **"ONETIME"：** タイマーが1度実行されると、タイマーオフ状態になります。

次のページに続く

6 オン時刻を設定してからオフ時刻を設定する

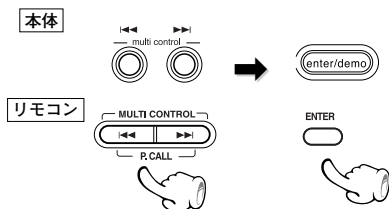
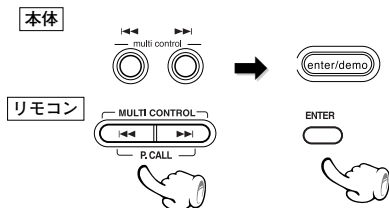
DIGITAL ⊙TIMER 1 EX.BASS
PROG.1 SET
ON 7:00am

DIGITAL ⊙TIMER 1 EX.BASS
PROG.1 SET
OFF 8:00am

- オン時刻とオフ時刻ともに、時を入力した後、同じ手順で分を入力します。
- ラジオの放送などをタイマー録音するとき、録音したい番組の放送開始時刻にあわせて本機のタイマー開始時刻を設定すると、番組の最初の部分が頭切れになります。頭切れしないように録音するときは、本機の録音開始時刻を番組の放送開始時刻よりも1分程度早く設定してください。
- 間違えたときは、mode キーを押して、手順 2 からやり直してください。

7 希望の予約を設定する

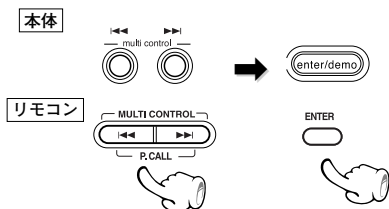
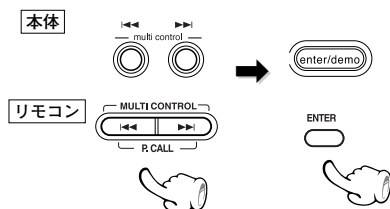
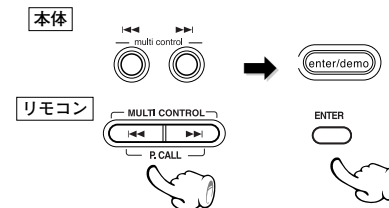
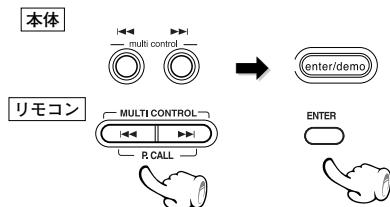
タイマー再生、AI タイマー再生をするとき

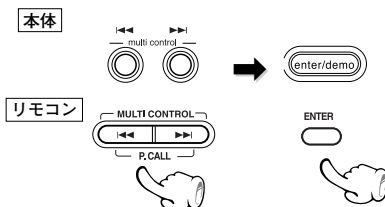
❶ |◀◀ または ▶▶| キーを押して "PLAY " または "AI PLAY" を選び、enter/demo キーを押す

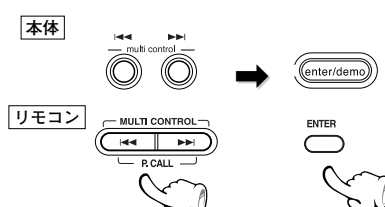
① "PLAY"（タイマー再生）
② "REC"
③ "AI PLAY"
（だんだん音が大きくなるタイマー再生）

❷ |◀◀ または ▶▶| キーを押して再生の音量を調整し、enter/demo キーを押す

- "PLAY"：ここで設定した音量で再生されます。
- "AI PLAY"：タイマーの再生が始まると、除々に音量が大きくなり、設定した音量まで上がります。
- 現在聴いている音量は変わりません。

タイマー録音をするとき

❶ |◀◀ または ▶▶| キーを押して "REC" を選び、enter/demo キーを押す

① "PLAY"
② "REC"（タイマー録音）
③ "AI PLAY"

❷ |◀◀ または ▶▶| キーを押して再生の音量を調整し、enter/demo キーを押す

- "REC"：ここで設定した音量で再生されます。
- 現在聴いている音量は変わりません。
- 留守録をするときは、音量を"0"にしてください。

❸ |◀◀または▶▶|キーを押して入力ソース（何を聴くか）を選び、enter/demo キーを押す

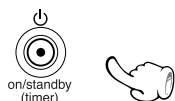
① "PLAY TUNER"（ラジオ）
② "PLAY CD"
③ "PLAY MD"
④ "PLAY AUX"
（外部入力、ビデオなど）

入力ソースが TUNER 時のみ

❹ |◀◀ または ▶▶| キーを押して受信する放送局のプリセットチャンネルを選び、enter/demo キーを押す

❸ |◀◀または▶▶|キーを押して入力ソース（何を録音するか）を選び、enter/demo キーを押す

① "PLAY TUNER"（ラジオ）
② "PLAY AUX"
（外部入力、ビデオなど）

入力ソースが TUNER（ラジオの録音）時のみ

❹ |◀◀ または ▶▶| キーを押して録音する放送局のプリセットチャンネルを選び、enter/demo キーを押す

❺ |◀◀または▶▶|キーを押してMDの録音モードを選び、enter/demo キーを押す

① "STEREO"
② "LP2"
③ "LP4"
④ "MONO"

- enter/demo キーを押して、設定が終了すると "COMPLETE" と表示されます。

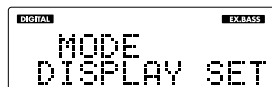
予約内容を確認したり変更したい時は、タイマー予約を初めからやり直してください。

8 電源をオフ（スタンバイ）にする

- タイマースタンバイ状態になると on/standby (timer) インジケーターが緑色に点灯します。
- タイマー設定後、電源がオフ（タイマースタンバイ）中に、停電などがあったときは、on/standby (timer) インジケーターが緑色に点滅します。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。

プログラムタイマーを解除するには

手順 ❶ 〜 ❸ の操作をし、手順 ❸ で "OFF" を選びます。

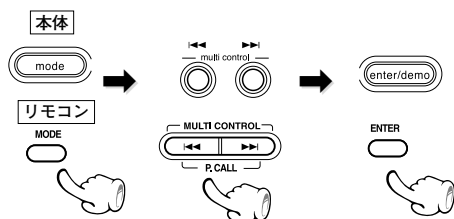
- タイマーのオン/オフを確認するには、電源がオンのときに TIMER 1 、TIMER 2 が点灯していれば、それぞれのプログラムタイマーはオンになっています。

表示部の調整やインジケーターの設定をする

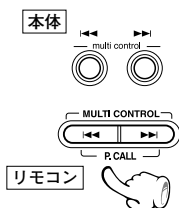
"CONTRAST" で表示部の濃さの調整、"BACK LIGHT" で表示部の明るさの設定、"LIGHT SET" で本体 MD と CD キーのインジケーターの設定ができます。

1 調整や設定をする項目を選ぶ

❶ mode キーを押してから、|◀◀または▶▶|キーを繰り返し押して "DISPLAY SET" を選び、enter/demo キーを押す

❷ |◀◀ または ▶▶| キーを繰り返し押して調整や設定をする項目を選び、enter/demo キーを押す

DIGITAL EX.BASS
MODE
DISPLAY SET

|◀◀または▶▶|キーを押すたびに、次のように切り換わります。

"CONTRAST"：
表示部の濃さを調整するとき選びます。

"BACK LIGHT"：
表示部の明るさを設定するとき選びます。

"LIGHT SET"：
本体 MD と CD キーのインジケーターの設定をするときに選びます。

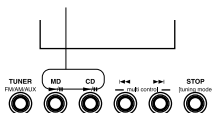
2 調整または設定をする

"CONTRAST" を選んだとき：
▶▶| を押すと濃くなり、|◀◀ を押すと薄くなります。

"BACK LIGHT" を選んだとき：
"BACK LIGHT HIGH"（明るくする）または **"BACK LIGHT LOW"**（暗くする）を選びます。

"LIGHT SET" を選んだとき：
"ON" または **"OFF"** を選びます。**"ON"** を選ぶと CD または MD を再生中にゆっくりとした点滅表示になり、**"OFF"** を選ぶと点灯になります。

3 確定する

この部分のMDとCDインジケーターが点滅または点灯します。

知っておきましょう

メンテナンス

お手入れのしかた

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。**シンナー、ベンジン、アルコール**などは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

❶ CD、MD を取り出します

❷ MD ▶/❚❚ キーを押す

NO DISC

❸ CD ▶/❚❚ キーを押す

NO DISC

❹ しばらく待って、表示部が図の表示になったことを確かめてください

❺ 数秒間待って、電源をオフにします

メモリーバックアップ

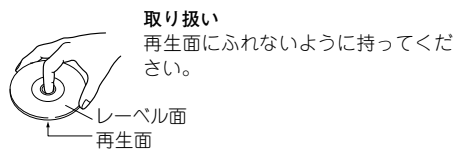
電源プラグをコンセントから抜いた後約1日バックアップするメモリーの内容：

入力切り換え
音量の設定
AUX インプットレベルの設定
TONE（トーン）機能の設定
タイマーの設定内容
表示部のコントラスト、バックライトの設定
本体 MD、CD キーのインジケーターの設定
オートパワーセーブの設定

- **チューナー関係**
  プリセット放送局
  選局方法の設定（オート、マニュアル選局）
- **録音設定関係**
  録音モード、LP スタンプ設定
  録音スピード
  メロディ設定
  オートマーク設定

ディスク取扱上のご注意

取り扱い
再生面にふれないように持ってください。

シール類
糊のベタつき

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

本機で使用できるディスクについて

CD（12cm、8cm）、CD-R、CD-RW および CD-G/CD-EG (CD グラフィックス)、CD-EXTRA の音声部分が再生できます。

CD ディスクのご注意

レーベル面に COMPACT disc のマークが入ったディスクをご使用ください。このマークが入っていないディスクは正しく再生できない場合があります。

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

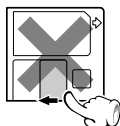
図のようにクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。

シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。

シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってください。

CD-R/CD-RW ディスクについて

レーベル面に印刷可能な CD-R/CD-RW を使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

透明なディスクについて

本機は、CDを光学的に検知して内部へ引き込むため、透明なCDは使用することはできません。

MDの取り扱いかた

MDのディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について

極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

本機の中では、MDのシャッターは常に開いています。従ってMDにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにMDを本機から取り出してください。

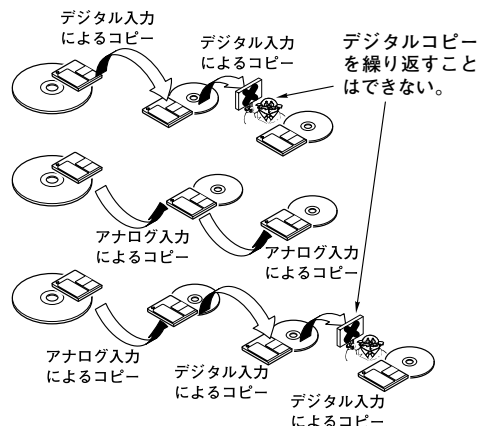
お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

ディスクアクセサリーについて

レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、MDの誤消去防止つまみ（WRITE PROTECT（ライト プロテクト））を開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

カートリッジラベルについて

ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。またラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

デジタル録音とSCMSについて

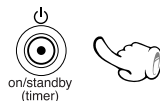
SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）とは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

MD - Clip（クリップ）データについて

MD-Clip（クリップ）データ（静止画等）を書き込んだディスクは、本機で録音・編集を行わないでください。Clip（クリップ）のデータ内容が失われることがあります。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器（この商品）の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティータワー11F
電話（03）5353-0336（代表）
FAX.（03）5353-0337

故障かな？と思ったら...

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作（操作できない、表示部の誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

電源プラグをコンセントから抜き、⏻キーを押しながら、差し込み直す。

マイコンをリセットすると **"INITIALIZE"** が表示されます。

INITIALIZE

アンプ部・スピーカー部

症　状	処　置
音が出ない。	● **"接続のしかた"** をみて正しく接続し直す。 →10 →13 ● 音量を上げる。 →20 ● **MUTE**をオフ（解除）にする。 →21 ● ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く →21
"on/standby (timer)" の表示が赤く点滅し,音が出ない。	● 使用を中止する。内部的な不具合が発生したことが考えられます。電源を切り、電源プラグを抜いて修理をご依頼ください。
"on/standby (timer)" の表示が緑色に点滅する。	● 現在時刻をもう一度合わせる。 →76 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 →78
ヘッドホンから音がでない。	● ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 →21 ● 音量を上げる。 →20
スピーカーの片側から音が出ない。	● **"スピーカーコードの取り替え"** をみて正しく接続し直す。 →13
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	● 現在時刻をもう一度合わせる。 →76
タイマーが作動しない。	● **"時刻合わせ"** をみて現在時刻を合わせる。 →76 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 →78

チューナー部

症　状	処　置
放送局が受信できない。	● アンテナを接続する。 →10 →11 ● 放送バンドを合わせる。 →28 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。 →31
雑音が入る。	● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。
オートプリセットしたあと、**P.CALL** キーを押しても受信できない。	● もう一度オートプリセットする。 →29 ● 受信できる周波数の放送局をマニュアルプリセットする。 →32

MD レコーダー部（MD 規格上の症状）

症　状	原　因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。	● 256曲以上（トラック番号256以上）は録音できません。（トラック番号256未満でも録音できないことがあります。）このとき、表示部の録音残量時間表示は、"**0:00**" になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	● MD全体の残り時間が 12 秒未満の場合は、表示部の録音残量時間表示は、"**0:00**" になります。消去された曲の合計時間が 12 秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。*1 ● 編集を繰り返したMDの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	● 編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。 ● 異なる録音モードの曲同士はつなげません。*2 ● 他のNet MD対応機器でパソコンからチェックアウトされた曲と通常に録音した曲は、つなぐことができません。
録音済みの時間と、録音可能時間の合計がMD 全体の記録時間（60 分、74 分、80 分）と一致しない。	● 2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。*3
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	● さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック（曲）番号が正しく付かない。	● 録音したソース（CDほか）の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"READING" が表示される時間が異常に長い。	● 新品の録音用MD（全く録音されていないもの）を入れた場合、通常よりも長い間 "**READING**" が表示されます。 ● 登録されているグループが多きときは、通常よりも長い間 "**READING**" が表示されます。
モノラル録音された MD のとき、時間表示が不正確になる。	● モノラル録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるためで、故障ではありません。
タイトルが 1792 文字入らない。	● タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

*1 録音モードが **STEREO** モードの場合（**LP2**/**MONO** モードの場合：24 秒　**LP4** モードの場合：48 秒）

*2 **STEREO**（ステレオ録音）モード、**LP2**（ステレオ２倍長時間録音）モード、**LP4**（ステレオ４倍長時間録音）モード、**MONO**（モノラル録音）モード

*3 録音モードが **STEREO** モードの場合（**LP2**/**MONO** モードの場合：4 秒 **LP4** モードの場合：8 秒）

MDレコーダー部

症　状	処　置
再生キーを押しても音が出ない。	● 録音済MDまたは再生用MDを入れる。
録音ができない。	● 誤消去防止つまみを元に戻すか、録音可能なMDに取り換える。 → 85 ● 入力切換を録音したいソースにする。 → 34 ● SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。アナログ録音に切り換える。 → 38
録音レベルが低い。（AUX使用時）	● AUXインプット（録音）レベルを調整する。 → 33
録音後音がひずむ。（AUX使用時）	● AUXインプット（録音）レベルを調整する。 → 33
雑音が大きい。	● 電気器具、テレビなどから離す。
DISPLAY/CHARAC.キーを押しても表示が切り換わらない。	● BLANK DISC、CHECK DISC、UTOC ERROR（→ 89）が表示されているときは、表示は切り換わりません。

CDプレーヤー部

症　状	処　置
CDが引き込まれない。	● 挿入口の中央にCDを入れる。 → 22 ● 本機はCDを光学的に検知して内部へ引き込むため、透明なCDは使用できません。
CDを入れても再生できない。	● レーベル面を正面にして、正しく入れる。 → 22 ● "ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 → 84 ● "結露にご注意"を参照し、露を蒸 発させる。 → 83
音声が出ない。	● CD ▶/II キーを押す。 ● "ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 → 84
音とびがする。	● "ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 → 84 ● 震動のない場所に設置する。
DISPLAY/CHARAC.キーを押しても表示が切り換わらない。	● CHECK DISC（→ 89）が表示されているときは、表示は切り換わりません。

リモコン部

症　状	処　置
リモコンで操作できない。	● 新しい電池に入れ換える。 → 18 ● 操作範囲内で操作する。 → 18

メッセージ表示の一覧

ディスプレイ表示	意　味
BLANK DISC	● 何も録音されていない MD です。
BUFFER OVER	● 74 分以内に 200 曲以上の CD を 4 倍速録音しようとしている。
CAN'T EDIT	● 長さが短すぎる曲などを編集しようとしている。 ● プログラムモード、グループモードのときに編集しようとしている。
CHECK DISC	● TOC 情報を読むことができない。 ● ディスクが正しく挿入されていない。
UTOC ERROR	● **UTOC*** の内容が異常である。"**ERASE TR ALL**" を行う。 → 65 それができないときは、MD を取り換える。
DISC FULL	● 録音可能なエリアがないか、256 曲目を録音しようとしている。録音用の MD を入れ換える。一枚のディスクには 256 曲以上録音できません。
MD WRITING	● 編集や録音したときの各種の情報を書き込んでいる。
NO TRACKS	● 曲は録音されていないが、MD タイトルが書かれている。
PGM FULL	● CD または MD のプログラムで 33 曲目を選択しようとしている。プログラムできるのは 32 曲までです。
PLAY ONLY	● 再生専用の MD に録音しようとしている。録音用の MD を入れる。
PROTECTED	● MD が " 録音禁止 " されている。" 録音可能 " にする。 → 85
RANDOM MODE	● CD ランダム再生のときに **O.T.E.** 録音をしようとしている。ランダム再生を解除する。 → 42
READING	● **TOC*** 情報を読み込んでいる。
SCMS	● SCMS によりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。デジタル録音はできません。アナログ録音に切り換える。
TEXT FULL	● 1536 バイト以上のテキスト情報がある **CD TEXT** のテキスト情報を表示しようとしている。
TITLE FULL	● 最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。 入力できる文字数は、全体で 1792 文字、1 曲につき 80 文字（"LP：" も含む）までです。
" ? " の点滅	● 設定や MD の編集を実行してもよろしいですか？ という確認のためのメッセージ。

* すべての MD には音声信号以外に **TOC**（**Table of Contents**）という情報が記録されています。**TOC** とは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。
TOC 以外に録音用 MD に特有な情報を **UTOC** と呼びます。この **UTOC** には、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

定　格

アンプ部

実用最大出力........................ 5 W+5 W（JEITA 6 Ω）

チューナー部

FMチューナー部

受信周波数範囲 ....76 MHz〜90 MHz

アンテナインピーダンス .... 75 Ω

AMチューナー部

受信周波数範囲 .... 531 kHz〜1,629 kHz

MDレコーダー部

読み取り方式........................非接触光学式読み取り（半導体レーザー）

記録方式.....................磁界変調オーバーライト方式

音声圧縮方式.............................. ATRAC, ATRAC 3

D/Aコンバーター .... 1 Bit

ワウ・フラッター (JEITA) .... 測定限界以下

CDプレーヤー部

読み取り方式........................非接触光学式読み取り（半導体レーザー）

D/Aコンバーター .... 1 bit

オーバーサンプリング .... 8 fs (352.8 kHz)

周波数特性 (JEITA) .... 20 Hz〜20 kHz

ワウ・フラッター (JEITA)
.... 測定限界以下

電源部・その他

付属ACアダプター（W09-1299）
.... DC 10 V（AC 100 V、50 Hz/ 60 Hz）

待機時消費電力 ....0.5 W以下

スピーカー部

エンクロージャー ....バスレフ型

スピーカー構成

フルレンジ ....80 mm コーン型

インピーダンス ....6 Ω

最大入力.. 10 W

最大外形寸法、質量

[LCA-5MD]

最大外形寸法（スピーカーを取付けた状態）
....幅 442 mm
.... 高さ 218 mm
.... 奥行 163 mm

最大外形寸法（本体部のみ）
....幅 192 mm
.... 高さ 218 mm
.... 奥行 163 mm

最大外形寸法（スピーカー部のみ/1本）
....幅 130 mm
.... 高さ 180 mm
.... 奥行 120 mm

質量（重量）（スピーカーを取付けた状態）........4.9 kg

質量（重量）（本体部のみ）................................2.5 kg

質量（重量）（スピーカー部のみ/1本）...............1.2 kg

[LCA-7MD]

最大外形寸法（スピーカーを取付けた状態）
....幅 542 mm
.... 高さ 247.5 mm
.... 奥行 163 mm

最大外形寸法（本体部のみ）
....幅 192 mm
.... 高さ 247.5 mm
.... 奥行 163 mm

最大外形寸法（スピーカー部のみ/1本）
....幅 180 mm
.... 高さ 180 mm
.... 奥行 120 mm

質量（重量）（スピーカーを取付けた状態）........5.4 kg

質量（重量）（本体部のみ）................................2.8 kg

質量（重量）（スピーカー部のみ/1本）...............1.3 kg

保証とアフターサービス (よくお読みください)

保証書 (別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。
(お問い合わせ先は、「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼される時は

「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)
- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 送　料: 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

お買上げ店名

電話 (　　　　)　　　-

ケンウッド サービス網

製品に対するお問合せ、アフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお申しつけください。

2003月8月現在

地区	サービス窓口	〒	所在地	電話
北海道				
	札幌サービスセンター	〒007-0834	札幌市東区北34条東14-1-23	☎(011) 743-7740
東北				
	仙台サービスセンター	〒984-0042	仙台市若林区大和町5-32-12(サンライズ大和)	☎(022) 284-1171
	盛岡サービスステーション	〒020-0124	盛岡市厨川4-5-11	☎(019) 646-2311
関東・甲信越				
	埼玉サービスセンター	〒362-0032	上尾市日の出3-9-1	☎(048) 775-9730
	千葉サービスセンター	〒277-0081	柏市富里1-2-1	☎(04) 7163-1441
	東京サービスセンター	〒169-0073	新宿区百人町2-16-15(MYビル1F)	☎(03) 3363-1650
	神奈川サービスセンター	〒226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎(045) 939-6242
	新潟サービスステーション	〒950-0923	新潟市姥ケ山1-5-37	☎(025) 287-7736
	静岡サービスステーション	〒420-0816	静岡市沓谷5-61-1	☎(054) 262-8700
中部				
	名古屋サービスセンター	〒462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	☎(052) 917-2550
	松本サービスステーション	〒390-0832	松本市南松本2-7-30(昭和ビル2F)	☎(0263) 26-7331
	金沢サービスステーション	〒920-0036	金沢市元菊町21-87	☎(076) 265-5045
近畿・四国				
	大阪サービスセンター	〒532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎(06) 6394-8075
	高松サービスステーション	〒760-0068	高松市松島町3-1	☎(087) 835-2413
中国				
	広島サービスセンター	〒731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎(082) 832-2210
九州				
	福岡サービスセンター	〒815-0035	福岡市南区向野2-8-18	☎(092) 551-9755
	鹿児島サービスステーション	〒890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10(パレス鴨池1F)	☎(099) 251-6347
	沖縄サービスステーション	〒901-2132	浦添市伊祖1-5-2	☎(098) 874-9010

窓口	〒	所在地	電話	FAX
カスタマーサポートセンター	〒226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 933-5133	FAX (045) 933-5553
カスタマーサポートセンター大阪	〒532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎ (06) 6394-8085	FAX (06) 6394-8308

- ケンウッドサービス窓口　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前10時から午後6時まで
- カスタマーサポートセンター　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前9時から午後6時まで

（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください）

KENWOOD

株式会社ケンウッド

〒192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

カスタマーサポートセンター　電話(045)933-5133　FAX(045)933-5553　〒226-8525　横浜市緑区白山1-16-2
カスタマーサポートセンター大阪　電話(06)6394-8085　FAX(06)6394-8308　〒532-0034　大阪市淀川区野中北 2-1-22

アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、上記の「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。